

第71回(令和4年2月9日) 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード	資料3-7
藤井先生提出資料	

現在の感染・療養状況等について

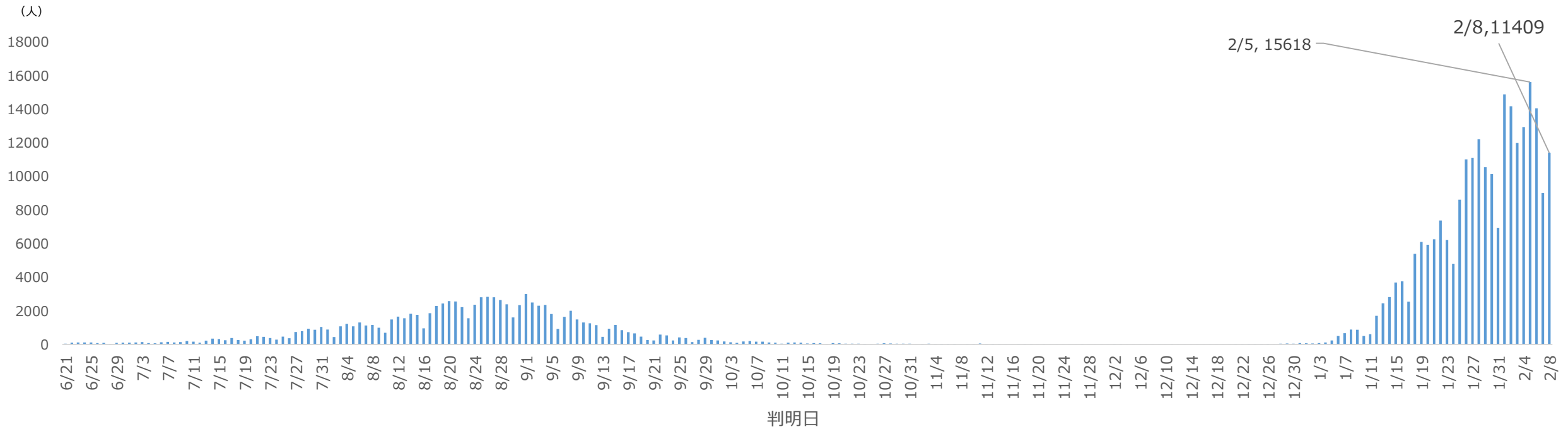
大阪府健康医療部

1	陽性者数等の推移	P3~10
2	入院・療養状況	P11~20
3	重症者・死亡例の分析	P21~28
4	感染状況を踏まえた対応	P29~38

1 陽性者数等の推移

陽性者数の推移（2月8日時点）

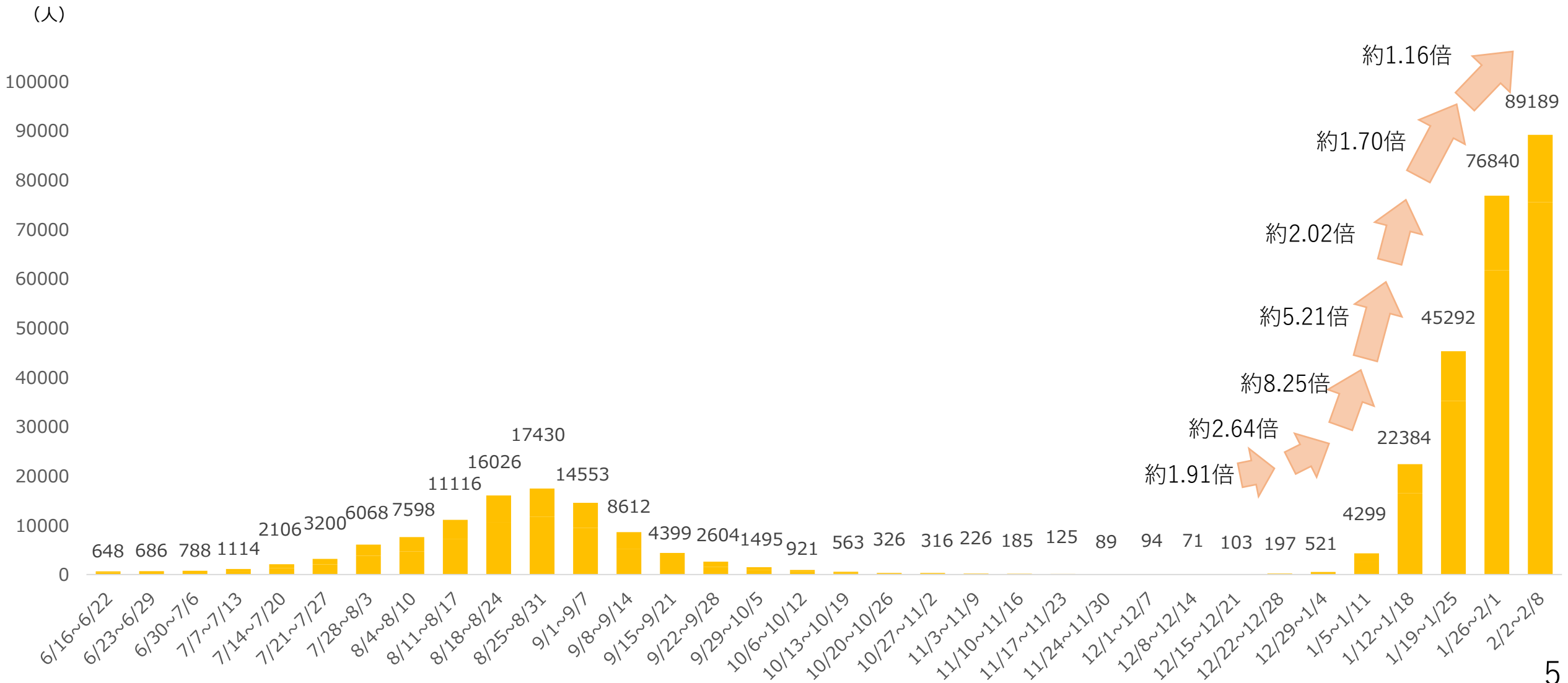
◆ 1月26日以降、新規陽性者数は10,000人を超過し、2月5日は15,618人で過去最多。
 （1月26日以降における大阪市保健所の陽性者発生届のHER-SYS処理遅延件数（超概算）を、本来公表日（26日以降）に計上（正確な処理遅延件数は、現在精査中）。次ページ以降も同様。）



	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8
	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)
公表数字（処理遅延件数以外）	9,812	9,711	10,013	10,350	9,133	6,242	11,879	11,169	11,990	10,640	10,918	12,555	8,308	11,409
大阪市処理遅延件数	1,200	1,400	2,200	200	1,000	700	3,000	3,000		2,300	4,700	1,500	700	0
計	11,012	11,111	12,213	10,550	10,133	6,942	14,879	14,169	11,990	12,940	15,618	14,055	9,008	11,409

7日間毎の新規陽性者数（2月8日時点）

◆ 感染拡大速度は徐々に鈍化しているが、依然、大規模な感染拡大が継続。（直近1週間は平均約12,741人/日）



新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移

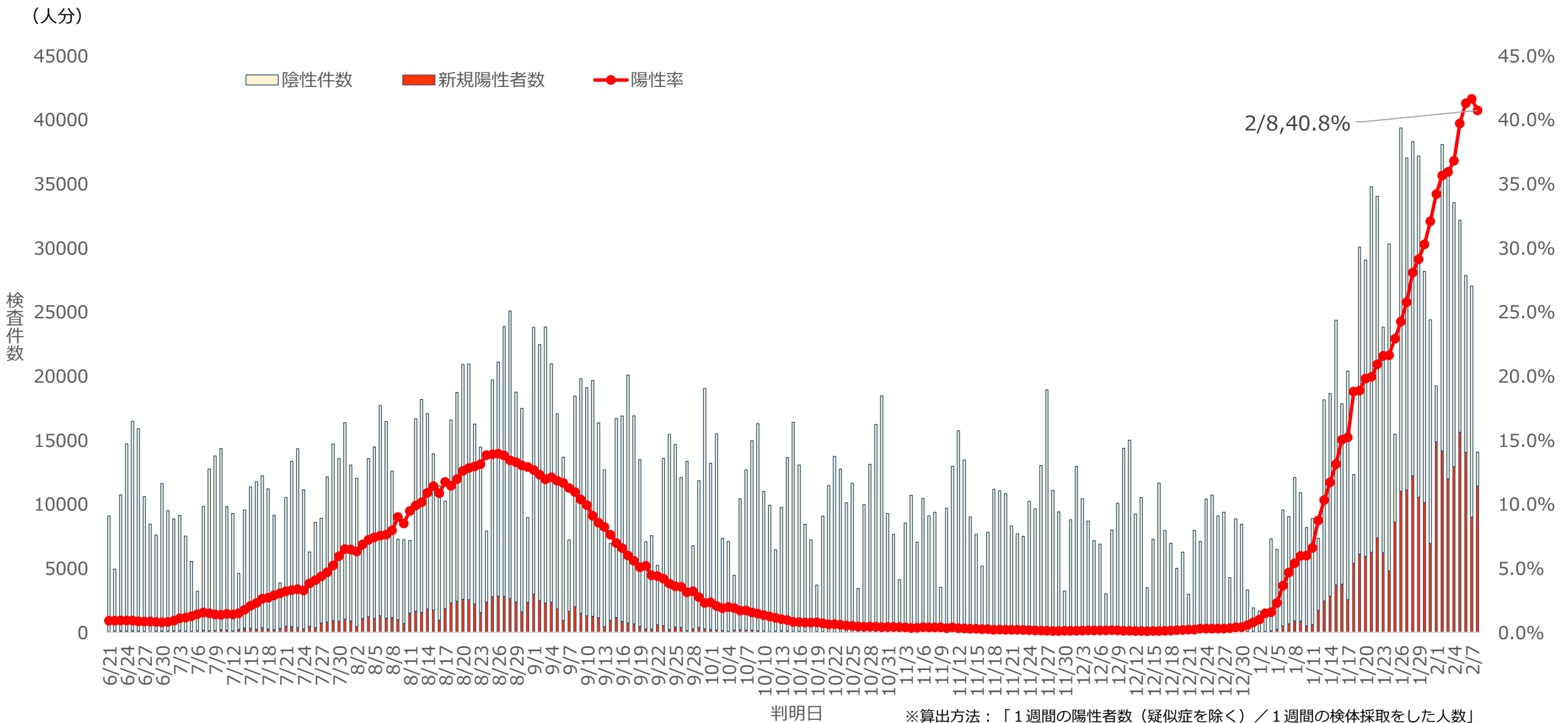
上段：新規陽性者数
下段：前週同曜日増加比

◆ 各曜日の新規陽性者数は、前週同曜日より増加。2月8日は前週同曜日より減少しているが、1月26日以降の正確な新規陽性者数が未精査であることを含め、感染動向は慎重な分析が必要。

	日	月	火	水	木	金	土	
1月	26	27	28	29	30	31	1/1	週合計
	30	11	51	61	52	78	70	353
	(2.31)	(3.67)	(1.89)	(2.54)	(1.58)	(3.00)	(3.18)	(2.39)
	2	3	4	5	6	7	8	週合計
	57	79	124	244	505	671	891	2,571
	(1.90)	(7.18)	(2.43)	(4.00)	(9.71)	(8.60)	(12.73)	(7.28)
	9	10	11	12	13	14	15	週合計
	876	499	613	1,711	2,452	2,826	3,692	12,669
	(15.37)	(6.32)	(4.94)	(7.01)	(4.86)	(4.21)	(4.14)	(4.93)
	16	17	18	19	20	21	22	週合計
3,760	2,549	5,394	6,101	5,933	6,252	7,375	37,364	
(4.29)	(5.11)	(8.80)	(3.57)	(2.42)	(2.21)	(2.00)	(2.95)	
23	24	25	26	27	28	29	週合計	
6,219	4,800	8,612	11,012	11,111	12,213	10,550	64,517	
(1.65)	(1.88)	(1.60)	(1.80)	(1.87)	(1.95)	(1.43)	(1.73)	
2月	30	31	2/1	2	3	4	5	週合計
	10,133	6,942	14,879	14,169	11,990	12,940	15,618	86,671
	(1.63)	(1.45)	(1.73)	(1.29)	(1.08)	(1.06)	(1.48)	(1.34)
	6	7	8	9	10	11	12	週合計
14,055	9,008	11,409						
(1.39)	(1.30)	(0.77)						

検査件数と陽性率

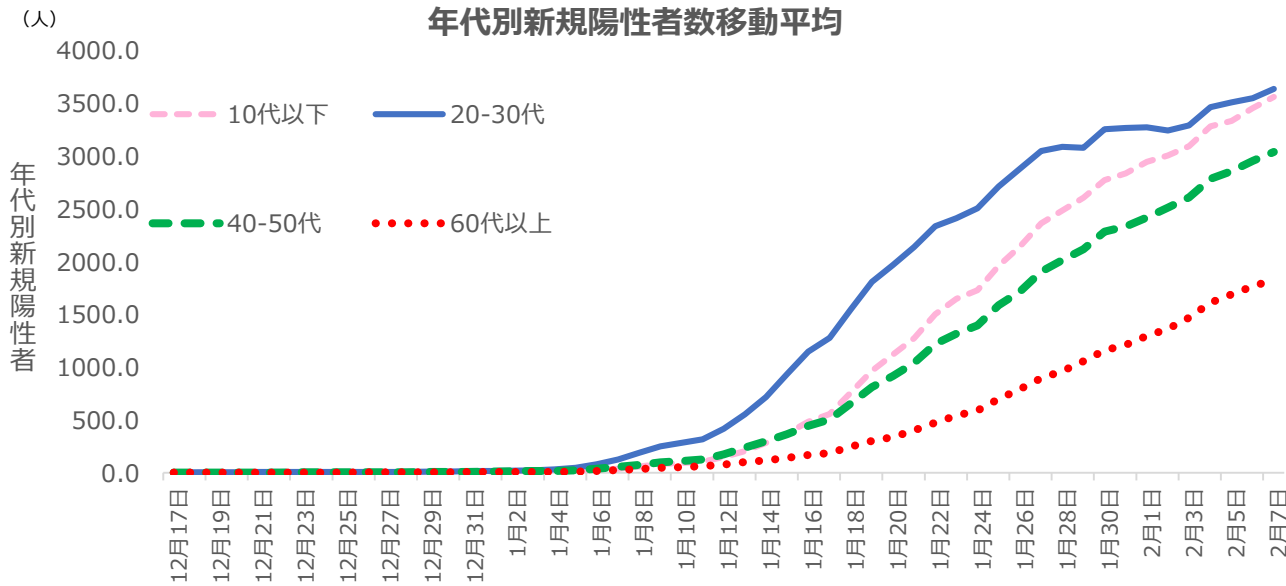
◆ 2月8日の陽性率は40.8%。依然として高水準。



年代別新規陽性者数の推移（2月7日時点）

◆ 20代未満と60代以上の割合が増加傾向。

（大阪市保健所の計上漏れ約12,700件（2月7日時点まで）については、HER-SYSへの入力日の翌日に計上しており、発生届提出日の翌日に計上していないため、年代別新規陽性者数移動平均の推移は傾向分析としては正確性を期すものではない。）



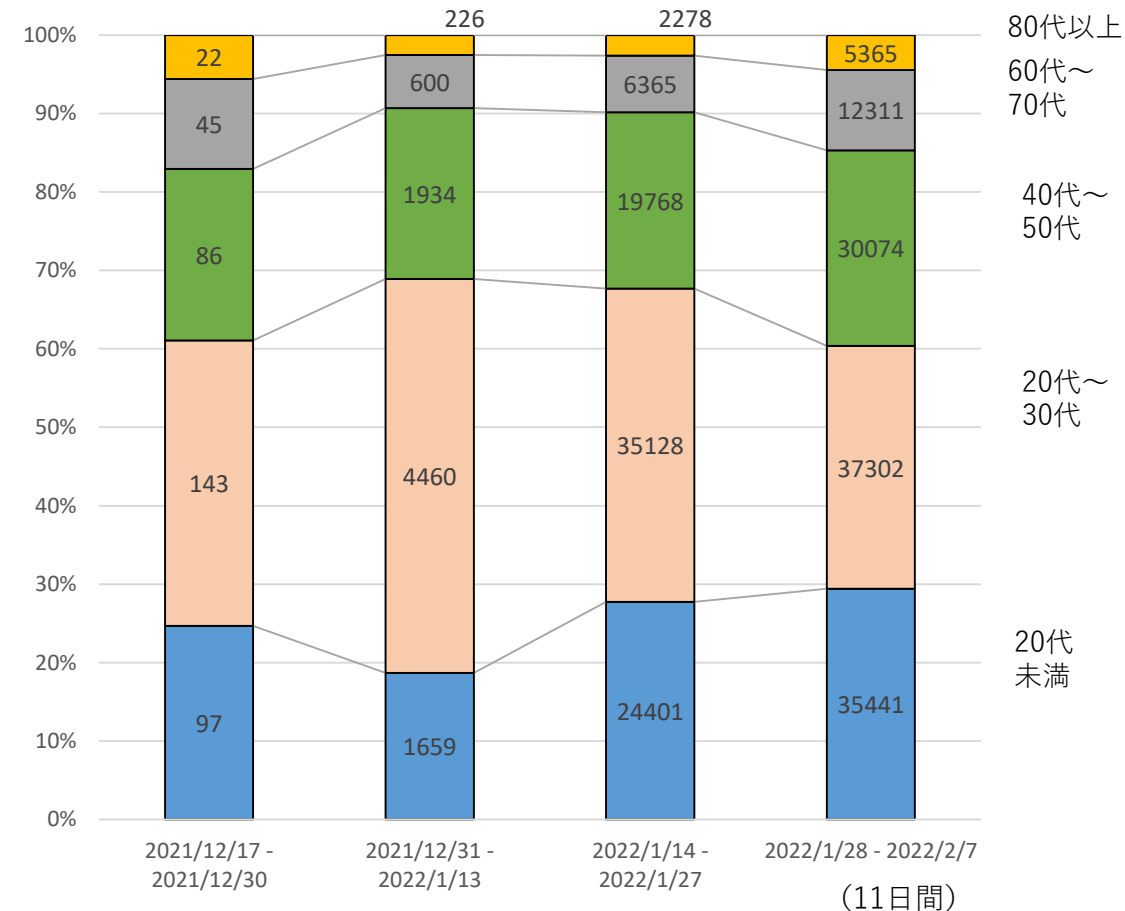
【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）前日増加比】

	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
10代以下	1.05	1.06	1.02	1.04	1.02	1.03	1.06	1.02	1.04	1.03
20～30代	1.00	1.06	1.00	1.00	0.99	1.01	1.05	1.01	1.01	1.02
40～50代	1.05	1.08	1.02	1.04	1.04	1.04	1.07	1.03	1.03	1.03
60代以上	1.10	1.10	1.04	1.07	1.05	1.08	1.10	1.05	1.05	1.04

※大阪市保健所の計上漏れ約12,700件は、HER-SYSへの入力日の翌日に計上

■ 第六波の新規陽性者の年齢区分（割合、2週間単位）

陽性者の年齢区分（割合、2週間単位）

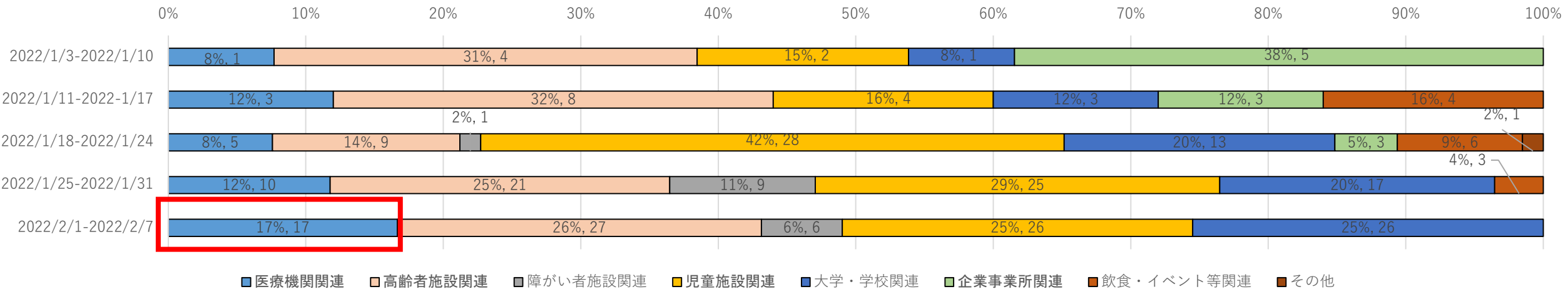


調査中480件を除く

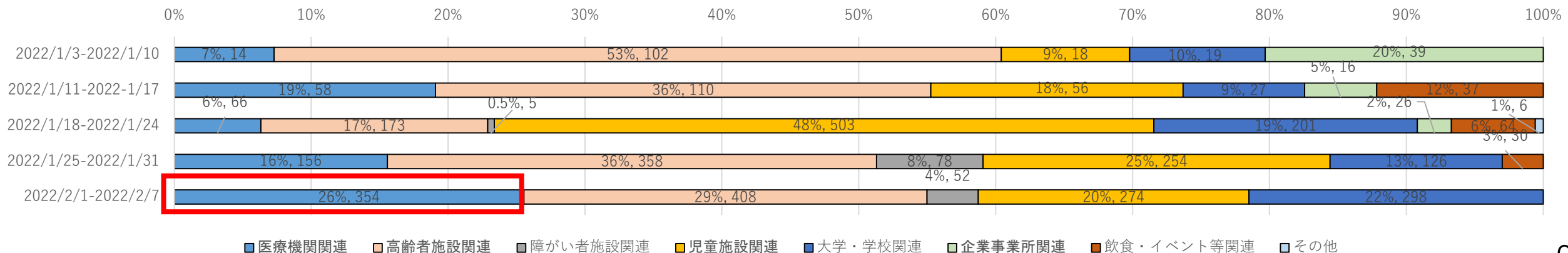
第六波のクラスター状況【割合】

◆ 直近2週間で医療機関関連のクラスター割合（施設・陽性者数）が増加。
直近1週間では、高齢者施設関連や児童施設関連、大学・学校関連クラスターの発生割合（施設・陽性者数）も依然、高水準。

施設数（割合）

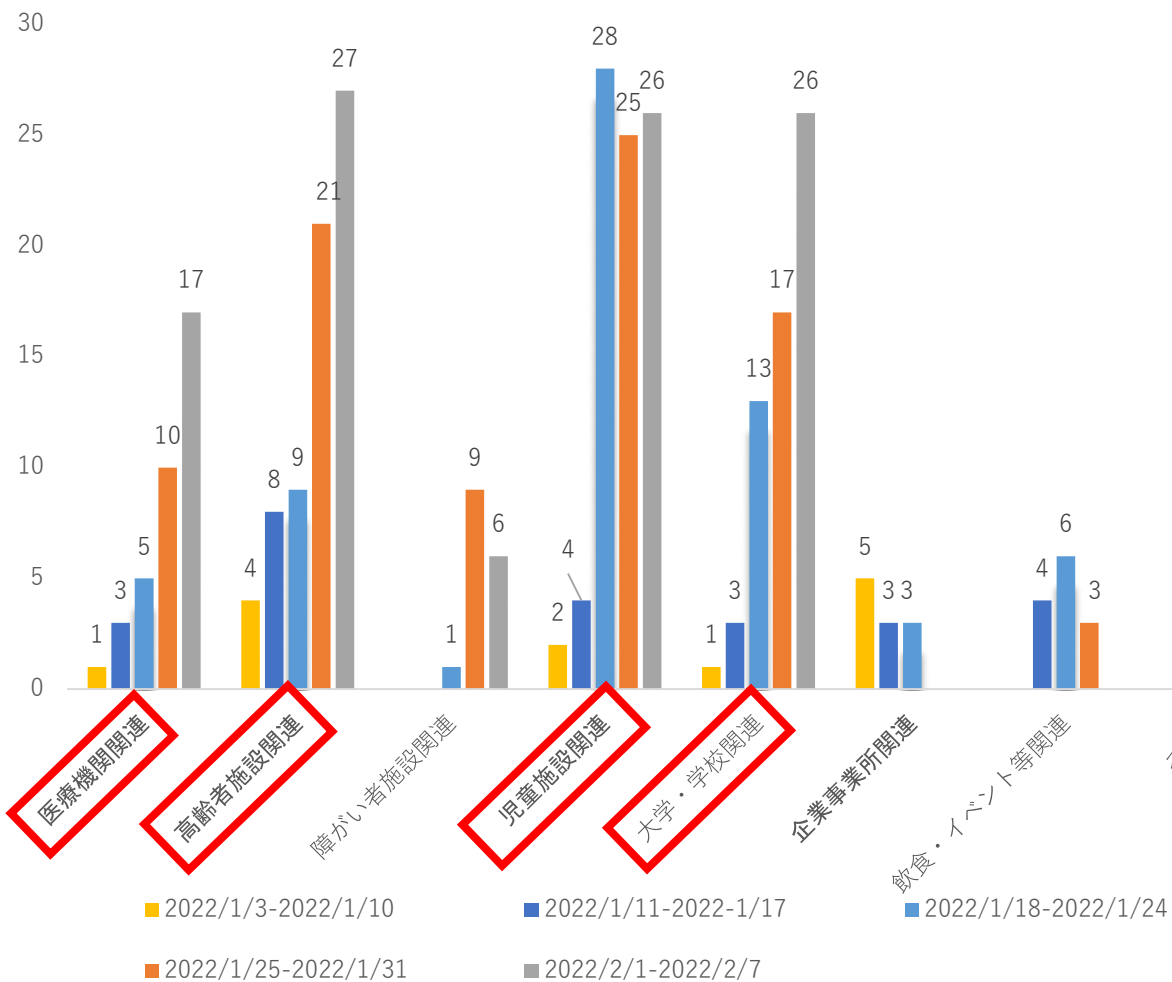


陽性者数（割合）

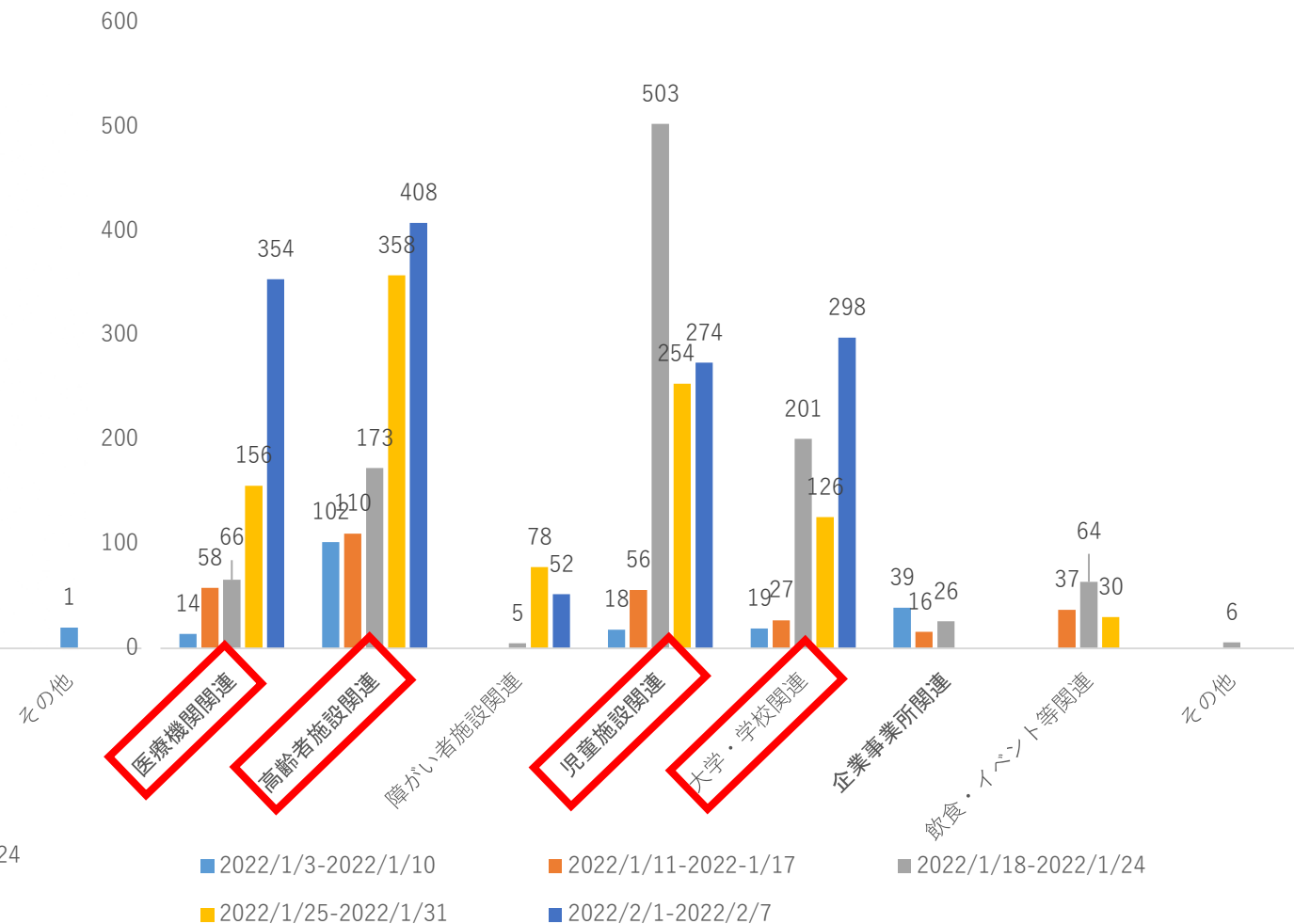


第六波のクラスター状況【実数】

クラスターの施設数



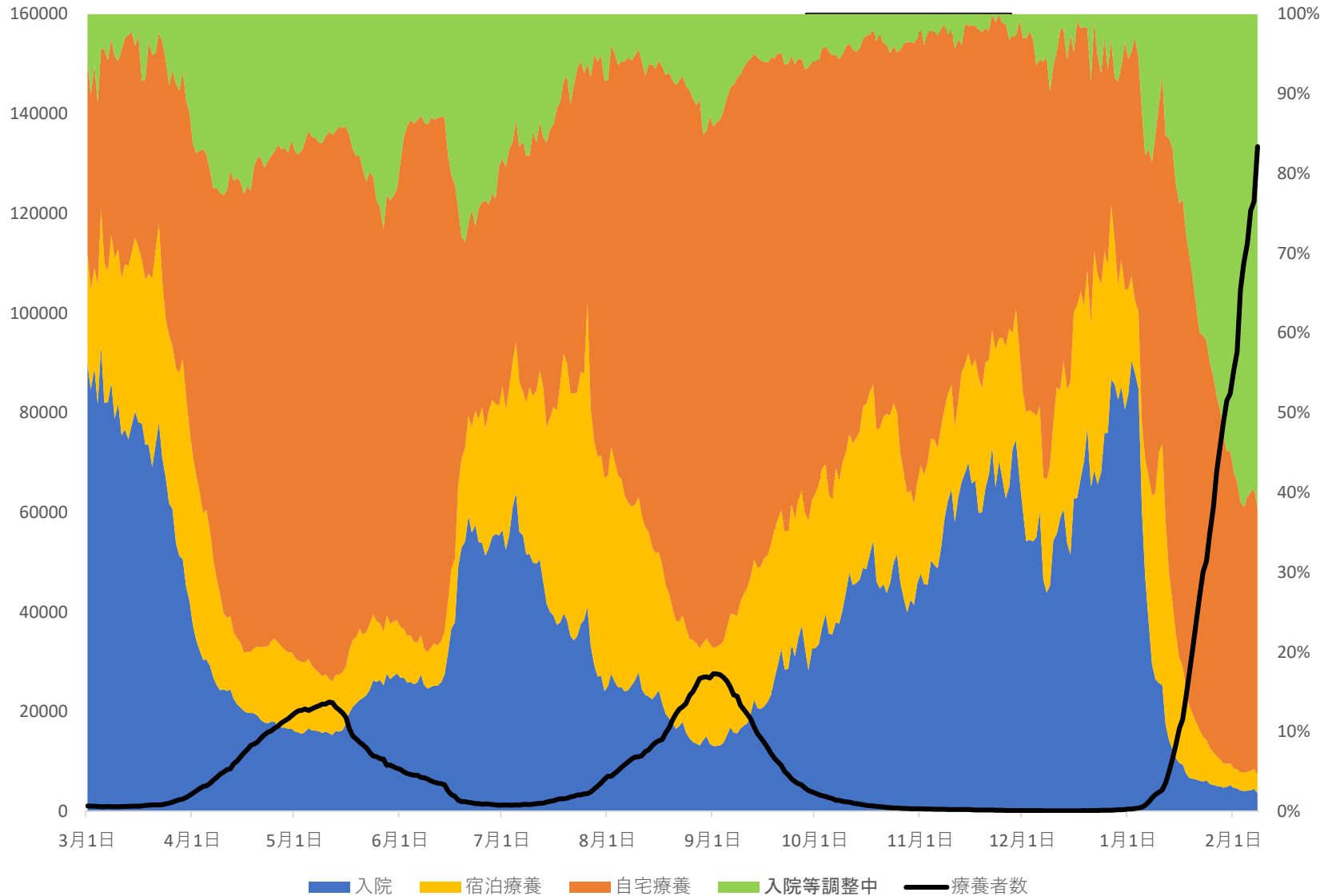
クラスターの陽性者数



2 入院・療養状況

入院・療養状況（2月8日時点）

◆ 入院率は、2月8日時点で2.3%。



	第四波 (5/11)	第五波 (9/1)	2 / 8
入院等調整中	14.7%	14.1%	61.9%
自宅療養	68.6%	65.5%	33.5%
宿泊療養	6.8%	12.2%	2.3%
入院中	9.8%	8.2%	2.3%
療養者数	21,900人	27,587人	133,402人

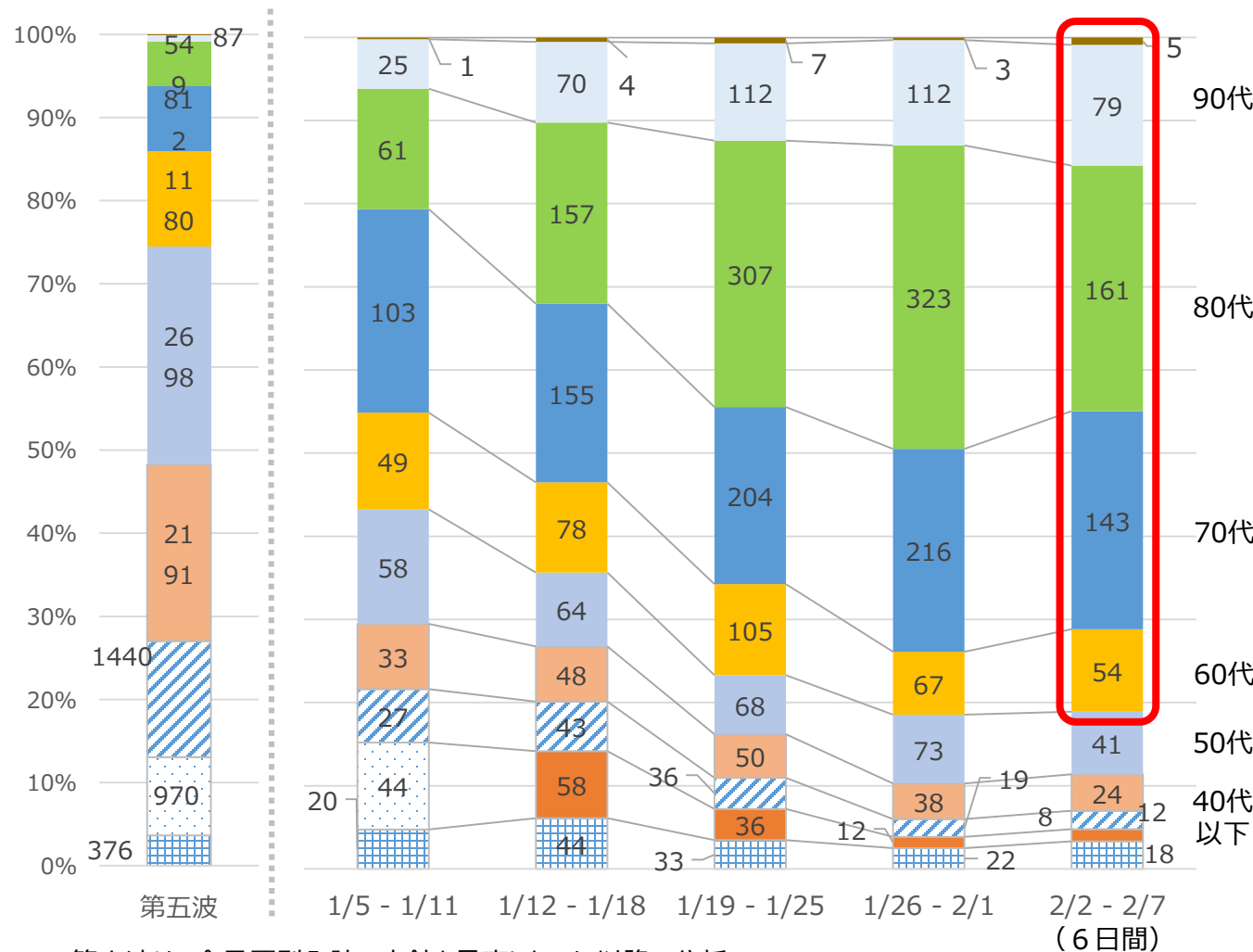
第四波、第五波は、最大療養者数となった日

※ 1月5日に患者の全員入院対応。1月7日、1月25日に入院・宿泊療養対象を見直し

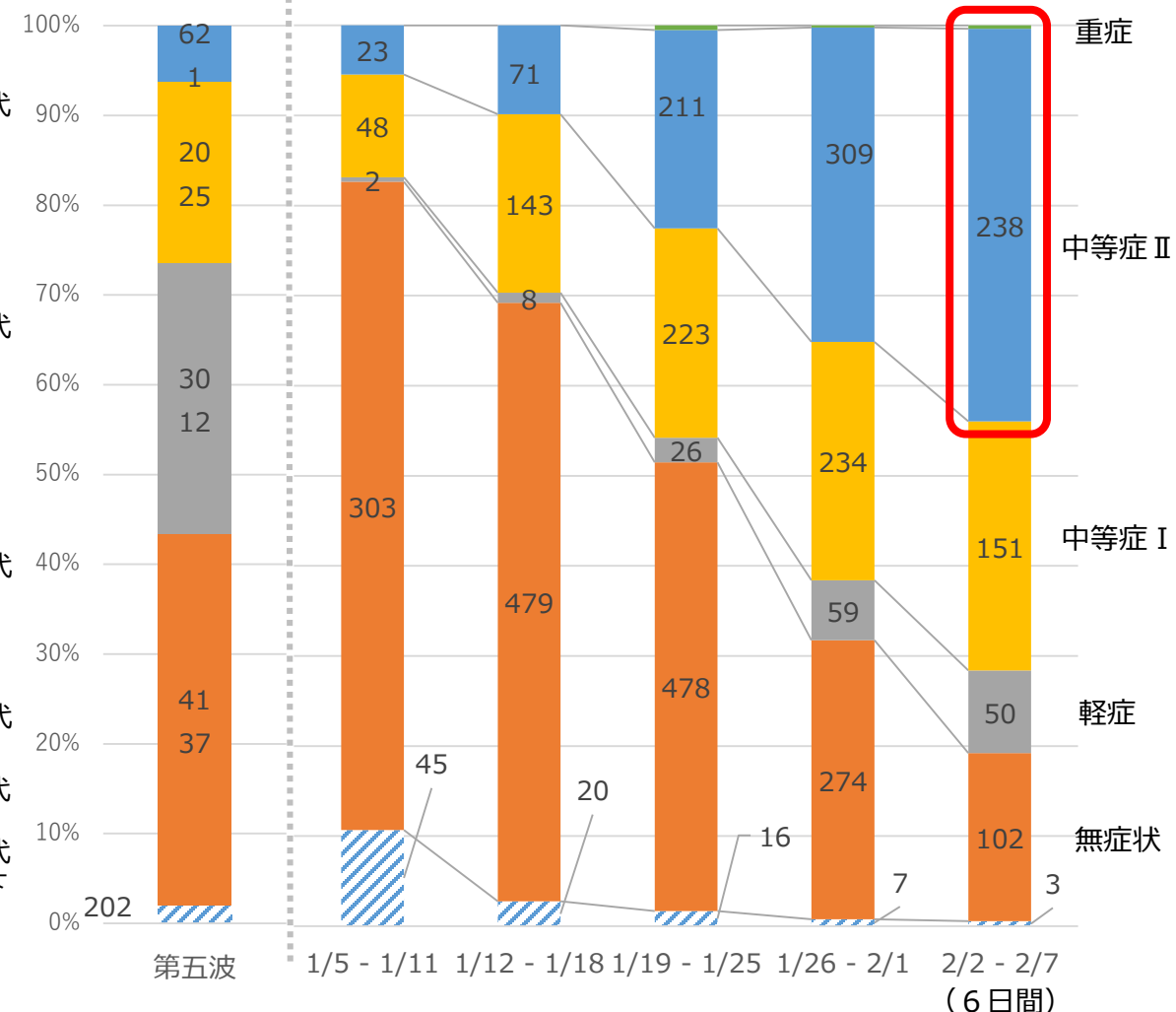
入院調整時の入院患者の年代割合や症状

- ◆ 第六波における入院調整時の入院患者の直近6日間の年代割合は、60代以上が8割強、80代以上が約5割。
- ◆ 症状としては、直近6日間は中等症Ⅱ以上が4割強を占めており、前週より増加。

入院調整時の入院患者の年代別割合 (第五波、1/5~2/7)



入院調整時の入院患者の症状 (第五波、1/5~2/7)

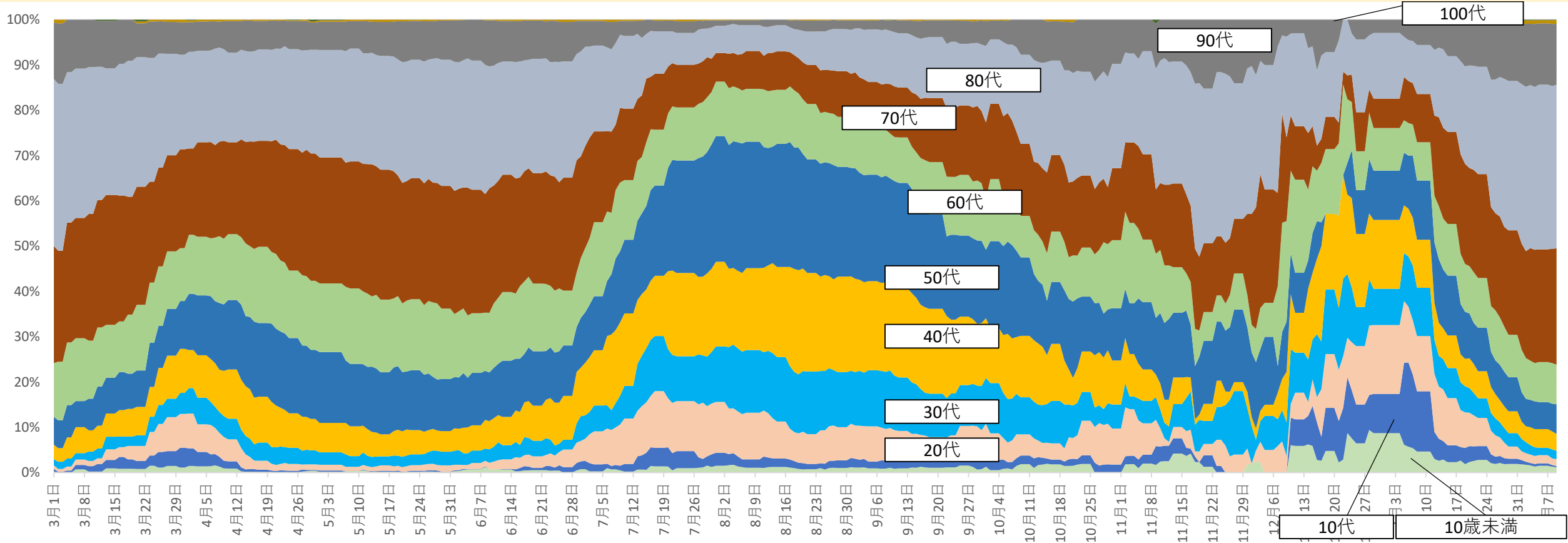


※第六波は、全員原則入院の方針を見直した1/5以降で分析

※症状は入院調整時の患者の症状であり、入院後に症状が変化している可能性がある。※「大阪府療養者情報システム (O-CIS)」のデータに基づく。

軽症中等症受入医療機関における入院患者数の年代別割合（2月8日時点）

◆ 2月8日時点で、60代以上は84.9%。80代以上は5割を超過し、医療提供体制が極めてひっ迫していた第四波と比較し、第六波は80代以上の入院患者数が多い。



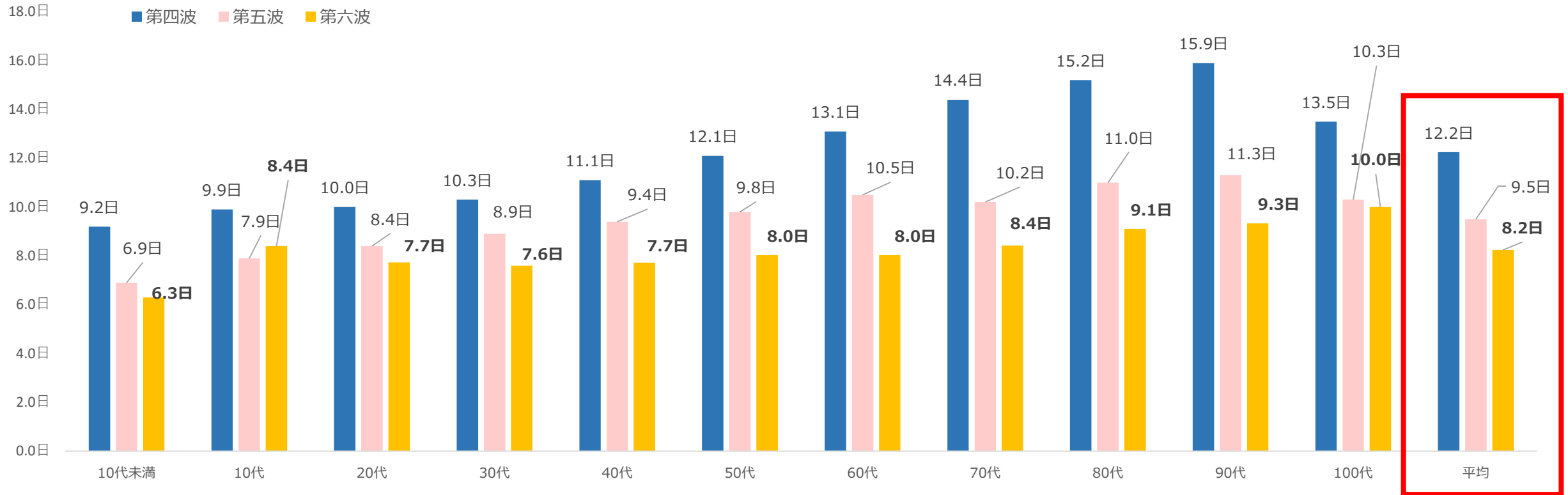
	第四波(5/12)	第五波(9/2)	2/8
60代未満	23.3%	66.3%	15.1%
60代以上	76.7%	33.7%	84.9%
(うち、80代以上)	(31.9%)	(12.7%)	(50.5%)

※ 1月5日に患者の全員入院対応、1月7日に入院・宿泊療養対象を見直し

第四波、第五波は、最低入院率となった日

第四波～第六波 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数（令和4年2月4日時点）

◆ 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数は、第四波では平均12.2日だったが、第五波では平均9.5日、第六波では平均8.2日と短くなっている。



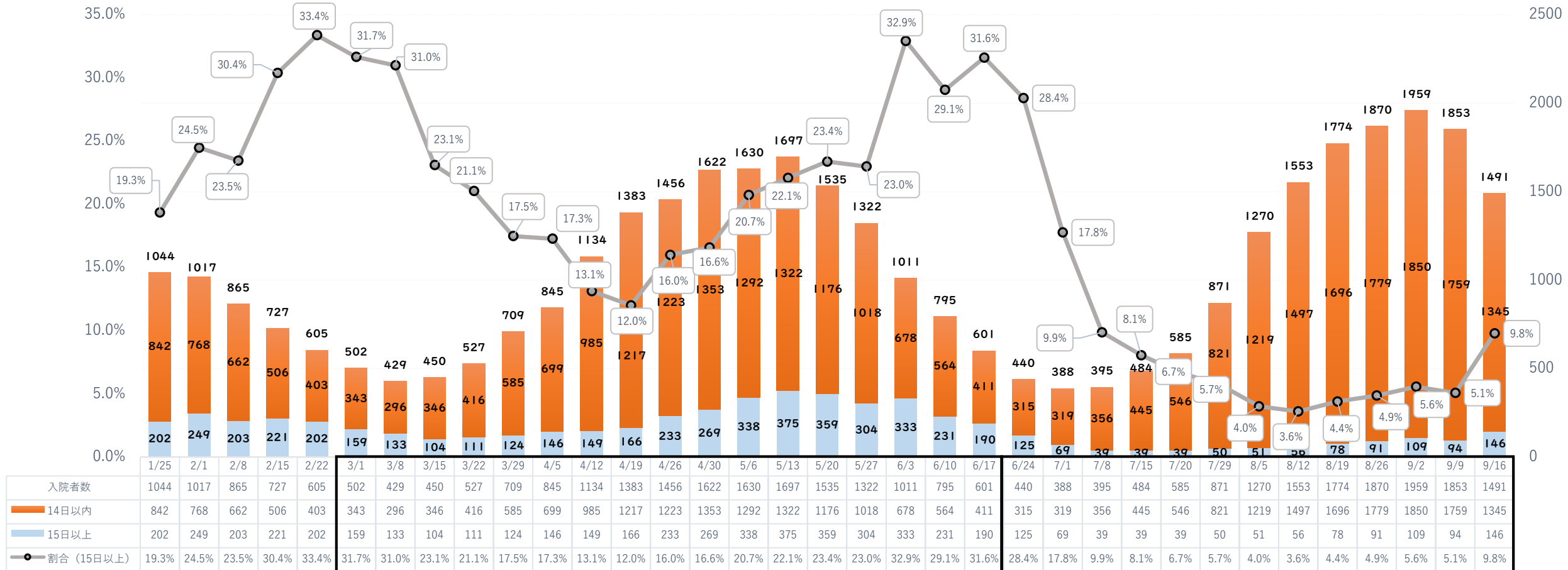
【退院患者数】

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	合計
第四波	52人	77人	250人	342人	707人	1090人	982人	1137人	743人	180人	12人	5572人
第五波	138人	242人	961人	1315人	1865人	2176人	895人	579人	391人	69人	3人	8634人
第六波	41人	14人	50人	45人	111人	163人	241人	677人	991人	369人	18人	2720人

※第四波は、R3.3.1～3.6.20の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上 ※第五波は、R3.6.21～3.9.15の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上
 ※第六波は、R3.12.17～R4.2.4の間に陽性が判明した患者で退院済の者を計上
 ※陽性判明日が不明の患者は除く

第四波・第五波 軽症中等症病床における長期入院者（15日以上の患者）の状況（9月16日時点）

◆ 総入院患者に占める長期入院患者（15日以上）の割合は、第四波は平均で22.5%、第五波で8.8%。
 （第五波における当該割合の減少は、入院が長期化する傾向にある60歳以上の入院患者の割合が第四波と比して著しく減少したことが一つの要因として考えられる。）



長期入院患者の平均割合：22.5%

※第四波期間中（3/1～6/20）

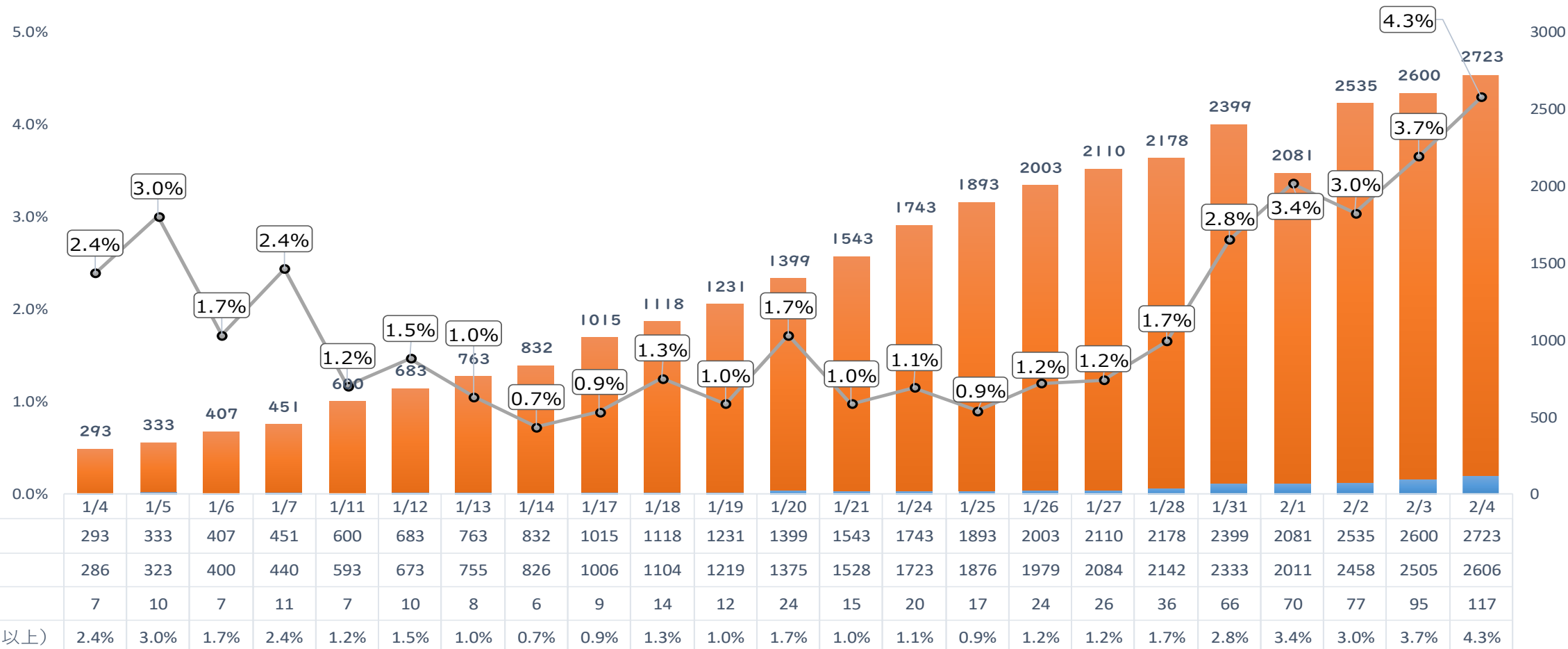
長期入院患者の平均割合：8.8%

※第五波期間中（6/21～9/16時点）

出展：入院フォローアップセンターのヒアリング結果から

第六波 軽・中等症病床における長期入院患者の状況（15日以上入院患者の推移）

◆ 第六波では、入院患者のほとんどが、14日以内に退院しており、1月4日から2月4日までの総入院患者に占める15日以上の患者の割合は、平均2.1%と第五波の平均8.8%から大きく減少。ただし、直近では、入院患者に占める高齢者の増加に伴い、増加傾向。



長期入院患者の平均割合：2.1%

※第六波期間中（1/4～2/4時点）

出展：入院フォローアップセンターのヒアリング結果から

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

◆ 重症者数が日々増加しており、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を含めた病床使用率は31.7%。

● 確保病床と使用率

2月8日現在 **病床使用率24.0%** (※31.7%)

確保病床数 612床 入院患者数 147人 (※194人)

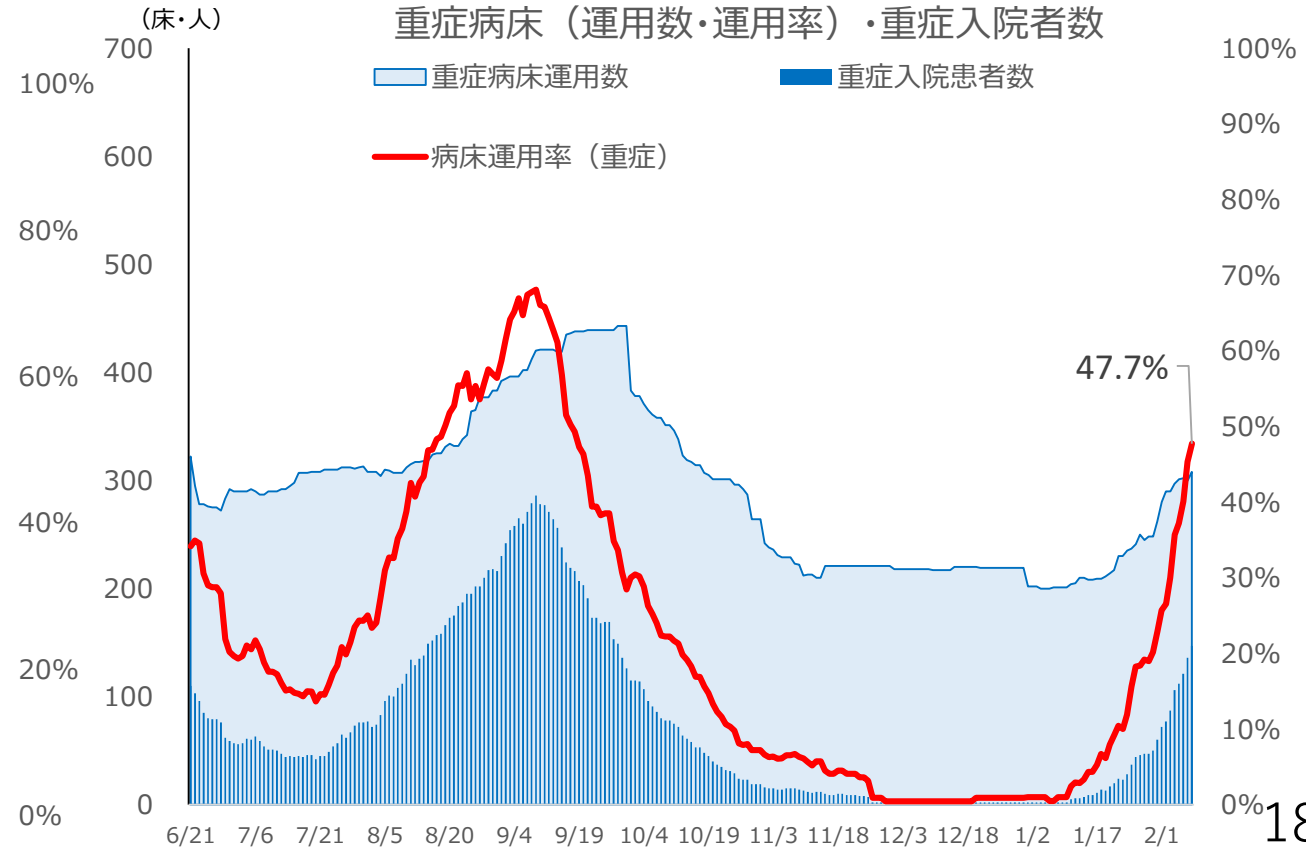
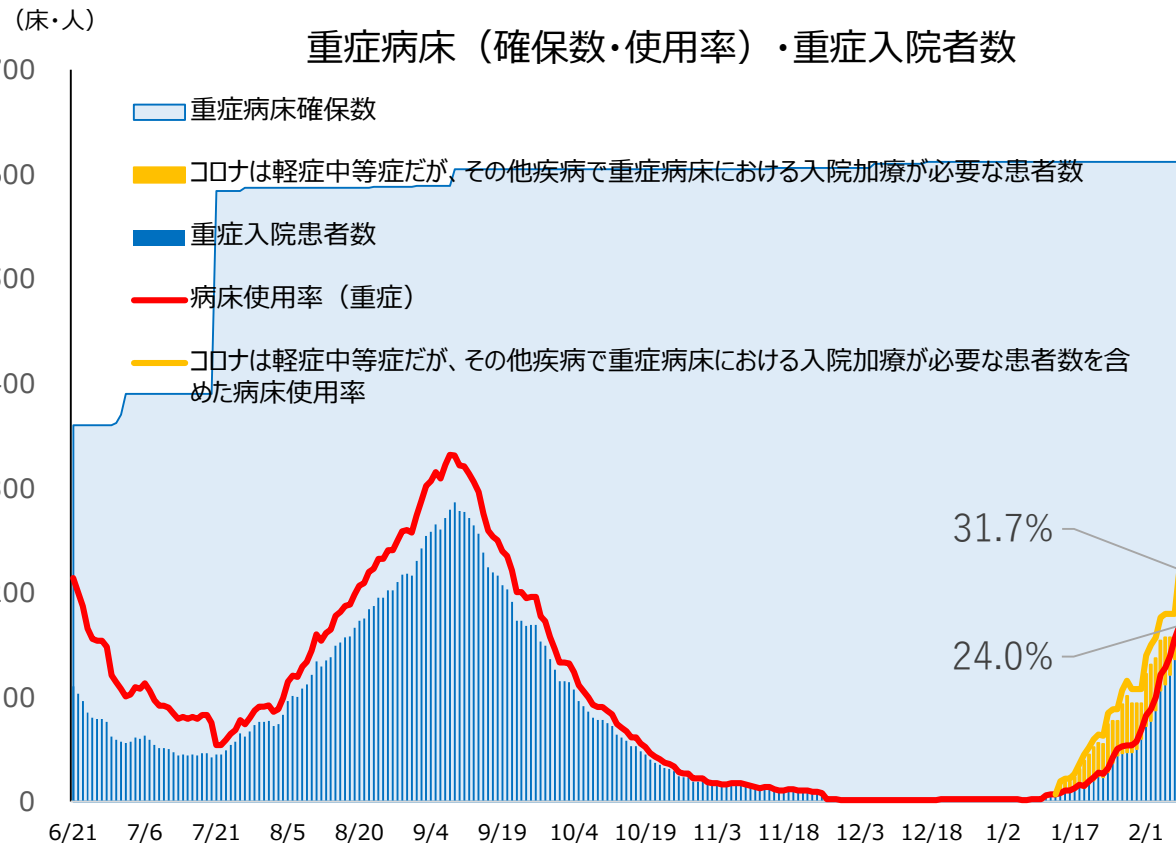
※コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数47人を含めた場合の患者数及び使用率

● 運用病床と運用率

2月8日現在 **病床運用率46.7%** (※)

運用病床数 315床 入院患者数 147人

※病床確保計画に基づく運用病床以外に受け入れていただいている病床数7床を含めた運用率(コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数47人を含めた場合の運用率は61.6%)



新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

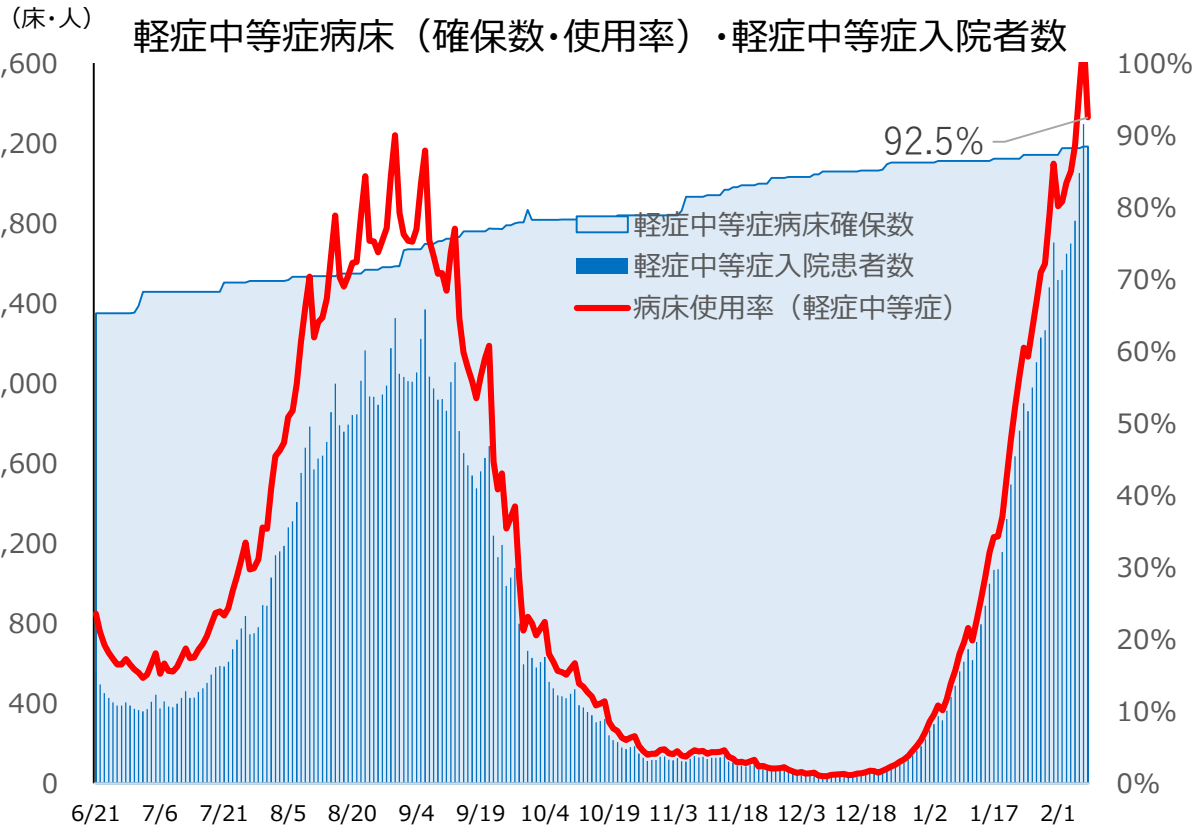
◆ 軽症中等症病床使用率は、9割を超過。
 運用率（災害級非常事態のフェーズ5で運用中）は、病床確保計画に基づく運用病床以外に受け入れていただいている病床数292床を含めて約9割と、極めてひっ迫。

● 確保病床と使用率

2月8日現在 **病床使用率92.5%**

確保病床数 3,183床 入院患者数2,943人※

※コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数47人を含む。47人を除いた場合の使用率は91.0%。

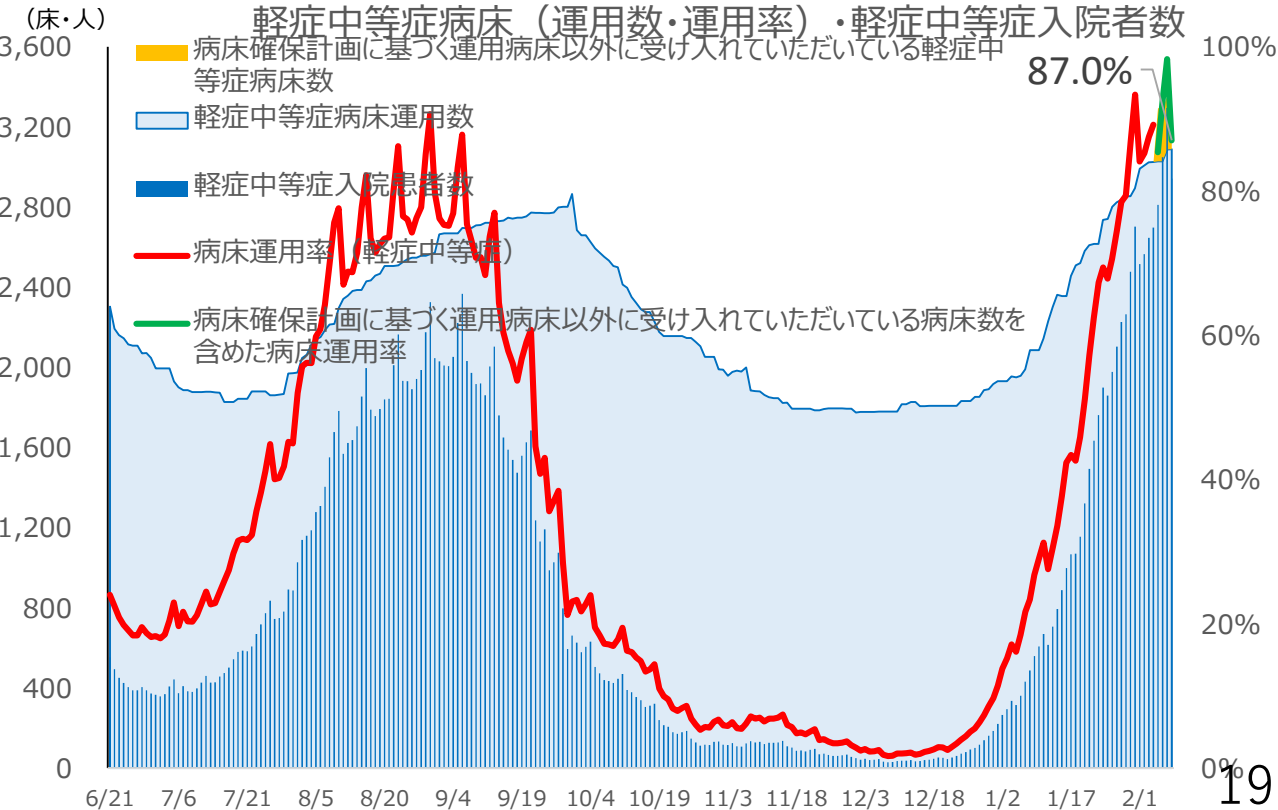


● 運用病床と運用率

2月8日現在 **病床運用率87.0%** (※1)

運用病床数 3,381床 入院患者数2,943人 (※2)

※1 病床確保計画に基づく運用病床以外に受け入れていただいている病床数292床を含めた運用率
 ※2 コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数47人を含む。47人を除いた場合の使用率は85.7%。



新型コロナウイルス感染症宿泊・自宅療養者、入院・療養等調整中者数

- ◆ 宿泊療養施設居室利用率、運用率ともに26.6%。
- ◆ 現在、自宅待機している方（自宅療養者数、入院・療養等調整中者数の合計）は、127,000人を超過。

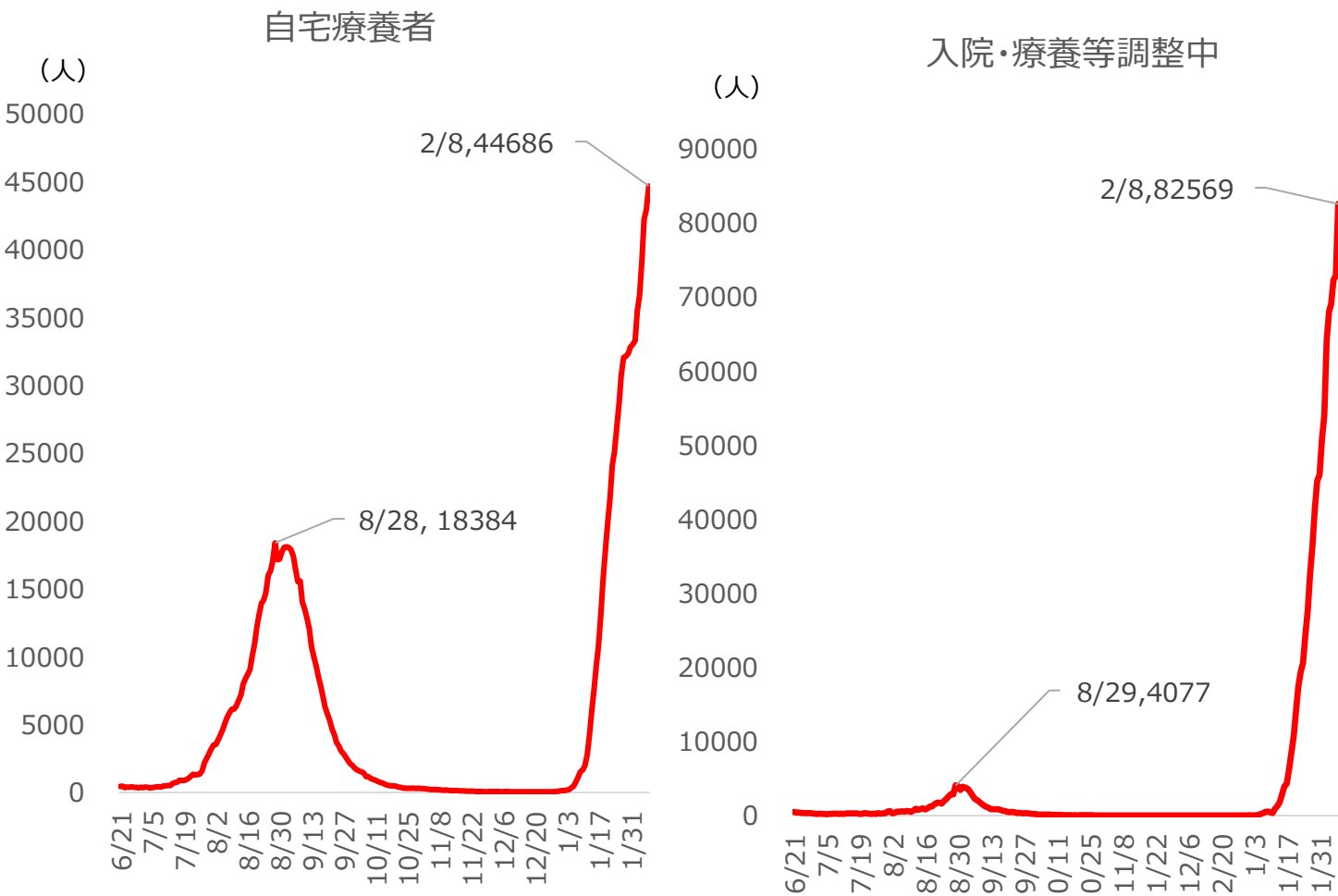
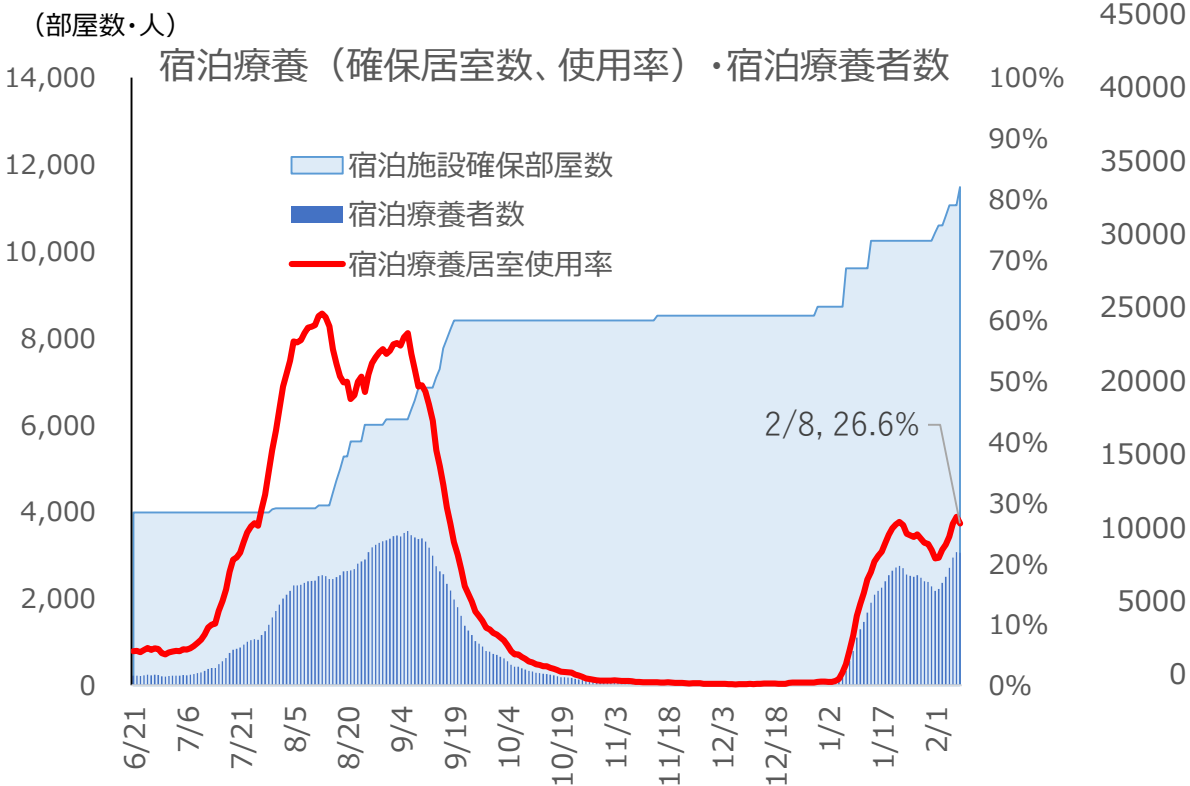
● 宿泊療養施設使用状況

2月8日現在 **利用率26.6%**

居室使用数11,477室 療養者数 3,057人

運用率26.6% (運用居室数 11,477室)

● 自宅療養者数と入院・療養等調整中の数



上記以外に、大阪コロナ大規模医療・療養センター（無症状・軽症者用）（1月31日運用開始） 2/8時点 利用率0%（0/1,000）、運用率0%（0/500）

3 重症者・死亡例の分析

年代別新規重症者の内訳（公表日別）（2月8日時点）

◆ 新規重症者の年代別内訳は、第六波では80代以上が28.9%と、第四波、第五波と比べて大きく増加。

年代別新規重症者の内訳割合（第四波、第五波、1/1～2/8）



	第四波 (R3.3/1～ 6/20)	第五波 (R3.6/21～ 12/16)	第六波 (R3.12/17～)
新規陽性者数 累計	55,318人	100,891人	238,794人
新規重症者数	1,735人	1,024人	211人
30代以下	61人 (3.5%)	101人 (9.9%)	3人 (1.4%)
40・50代の 割合	491人 (28.3%)	553人 (54.0%)	38人 (18.0%)
60・70代の 割合	970人 (55.9%)	301人 (29.4%)	109人 (51.7%)
80代以上の 割合	213人 (12.3%)	69人 (6.7%)	61人 (28.9%)

※新規重症者を公表日別に集計しているため、陽性判明日別に集計した各波の重症者数と人数が一致しない場合がある。
 ※第六波の各年代の割合は、2月8日時点までの新規重症者数に基づく。今後、新規重症者の推移により変動。

年代別重症化率及び死亡率の推移（陽性判明日別）（令和4年2月5日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6～7/12）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

重症化率	第一波 (R2.1/29-6/13)			第二波 (R2.6/14-10/9)			第三波 (R2.10/10-R3.2/28)			第四波 (R3.3/1-6/20)			第五波 (R3.6/21-12/16)			第六波（2/5時点） (R3.12/17-)		
	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率
19歳以下	79	1	1.3%	839	0	0.0%	3704	1	0.0%	6629	2	0.0%	22424	3	0.0%	55261	1	0.00%
20・30代	654	7	1.1%	4420	3	0.1%	11733	16	0.1%	19778	61	0.3%	44077	99	0.2%	70546	3	0.00%
40・50代	564	36	6.4%	2207	52	2.4%	9845	184	1.9%	15845	494	3.1%	26463	554	2.1%	46562	28	0.06%
60代以上	489	103	21.1%	1805	177	9.8%	10782	947	8.8%	12950	1200	9.3%	7821	368	4.7%	23882	127	0.53%
総計	1786	147	8.2%	9271	232	2.5%	36064	1148	3.2%	55318	1757	3.2%	100891	1024	1.0%	196560	159	0.08%

死亡率	第一波 (R2.1/29-6/13)			第二波 (R2.6/14-10/9)			第三波 (R2.10/10-R3.2/28)			第四波 (R3.3/1-6/20)			第五波 (R3.6/21-12/16)			第六波（2/5時点） (R3.12/17-)		
	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率
19歳以下	79	0	0.0%	839	0	0.0%	3704	0	0.0%	6629	0	0.0%	22424	1	0.0%	55261	0	0.0%
20・30代	654	0	0.0%	4420	0	0.0%	11733	1	0.0%	19778	7	0.0%	44077	4	0.0%	70546	0	0.0%
40・50代	564	6	1.1%	2207	4	0.2%	9845	17	0.2%	15845	88	0.6%	26464	63	0.2%	46562	5	0.01%
60代以上	489	81	16.6%	1805	138	7.6%	10782	920	8.5%	12950	1444	11.2%	7820	290	3.7%	23882	128	0.54%
総計	1786	87	4.9%	9271	142	1.5%	36064	938	2.6%	55318	1539	2.8%	100891	358	0.4%	196560	133	0.07%

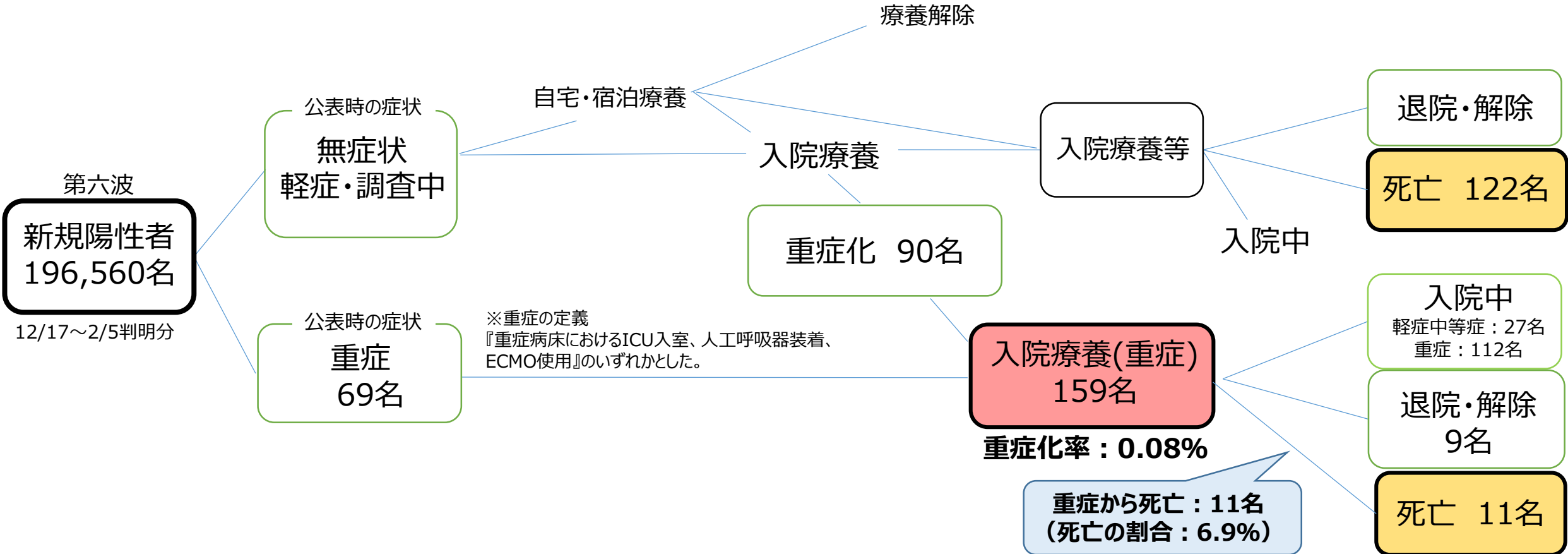
※死亡率：新規陽性者数に占める死亡者の割合。

※重症化率及び死亡率は2月5日判明時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

【第六波】重症及び死亡例のまとめ（令和4年2月5日判明時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

重症及び死亡例の経過



全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2022/2/5判明時点

	累計 陽性者数	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	第六波	死亡者数 (死亡率)	第一波	第二波	第三波	第四波	第五波	第六波
		2020年 6/13まで	6/14～ 10/9	10/10～ 2/28	3/1～ 6/20	6/21～ 12/16	12/17～ 2/5		2020年 6/13まで	6/14～ 10/9	10/10～ 2/28	3/1～ 6/20	6/21～ 12/16	12/17～ 2/5
大阪府	399,890	1,786	9,271	36,064	55,318	100,891	196,560	3,197 (0.8%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	938 (2.6%)	1,539 (2.8%)	358 (0.4%)	133 (0.07%)
全国	3,091,767	17,179	70,012	343,342	350,398	943,478	1,367,358	19,123 (0.6%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	6,262 (1.8%)	6,510 (1.9%)	3,973 (0.4%)	755 (0.06%)

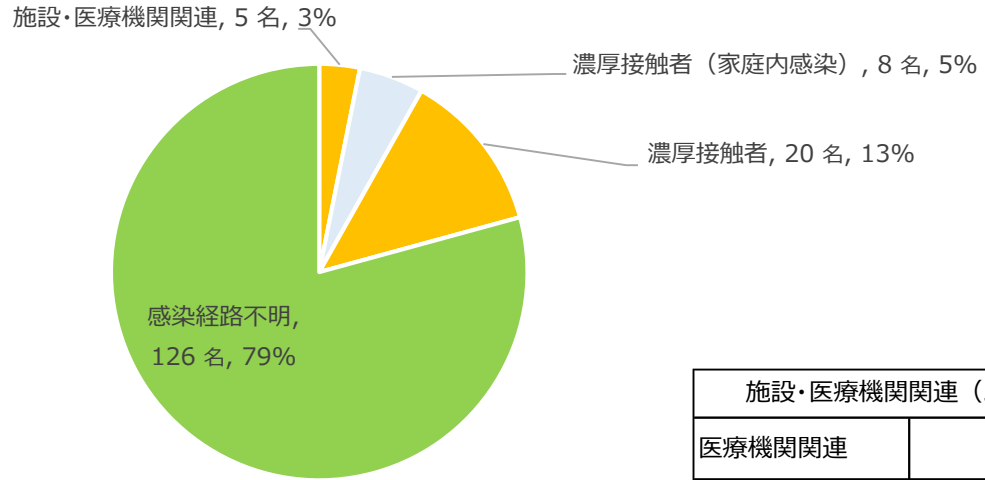
※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない。全国は厚生労働省公表資料（2/5の国内の発生状況）より集計。

※重症率及び死亡率は2月5日判明時点までの重症及び死亡者数に基づく。今後、重症及び死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

【第六波】重症例・死亡例について推定される感染経路（令和4年2月5日時点）

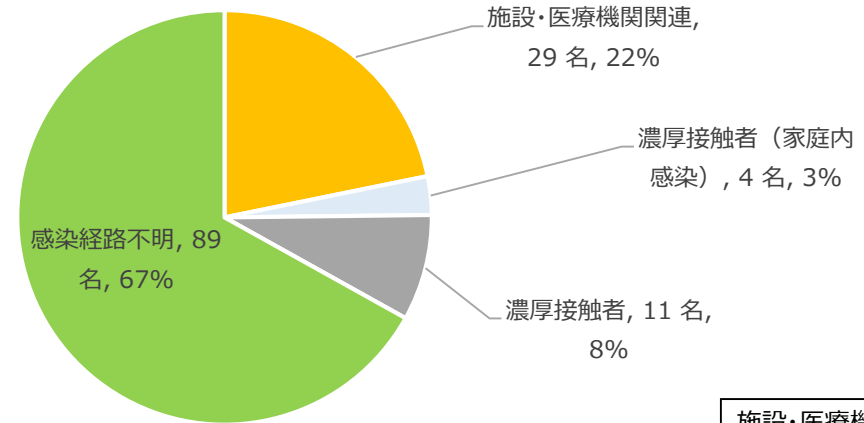
死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

第六波 重症例（N=159）について推定される感染経路



施設・医療機関関連（5名）の内訳	
医療機関関連	3
高齢者施設関連	2

第六波 死亡例（N=133）について推定される感染経路



施設・医療機関関連（29名）の内訳	
医療機関関連	17
高齢者施設関連	12

年代	重症例 総数	感染経路内訳				陽性者 総数	重症化率
		施設・ 医療機関関連	濃厚接触者 （家庭内感染）	濃厚 接触者	感染 経路不明		
10歳未満	1				1	24,011	0.00%
20代	1				1	41,136	0.00%
30代	2			1	1	29,410	0.01%
40代	11		1	2	8	27,878	0.04%
50代	17		3	1	13	18,684	0.09%
60代	22			4	18	9,509	0.23%
70代	57		2	7	48	7,553	0.75%
80代	40	2	2	5	31	4,989	0.80%
90代	8	3			5	1,747	0.46%
計	159	5	8	20	126	-	-

年代	死亡例 総数	感染経路内訳				陽性者 総数	死亡率
		施設・ 医療機関関連	濃厚接触者 （家庭内感染）	濃厚 接触者	感染 経路不明		
40代	5			1	4	27,878	0.02%
60代	8				8	9,509	0.08%
70代	27	6		3	18	7,553	0.36%
80代	49	14	2	4	29	4,989	0.98%
90代	41	7	2	3	29	1,747	2.35%
100代	3	2			1	84	3.57%
計	133	29	4	11	89	-	-

※重症者数、死亡者数は令和4年2月5日時点であり、今後、変動
 ※令和4年1月31日より、保健所業務の重点化のため、施設・医療機関関連以外のクラスターについて発生数以外の詳細把握を行っていない。

【第四波以降】重症者のまとめ（令和4年2月5日時点）

※第四波の重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（4/6～7/12）や他府県で受け入れている重症者（4/22～5/10）を含む。

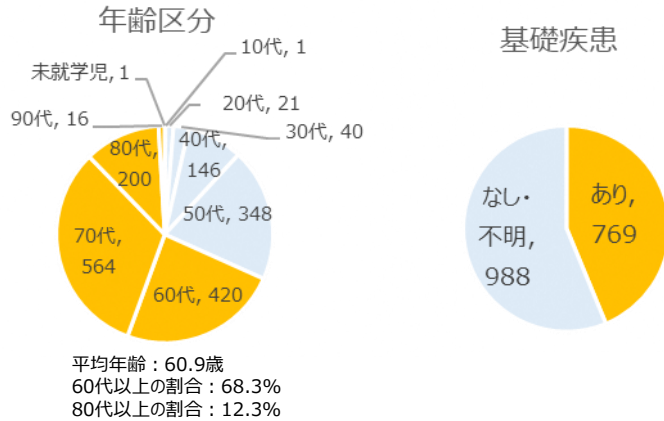
第四波（3/1～6/20）

新規陽性者数	55,318
(再掲)40代以上(割合)	28,795(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,950(23.4%)
重症者数（※）	1,757
死亡	399
退院・解除	1,358
転帰	
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が23例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.9%(1,694/28,795)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：9.3%(1,200/12,950)
 全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,757/55,318)



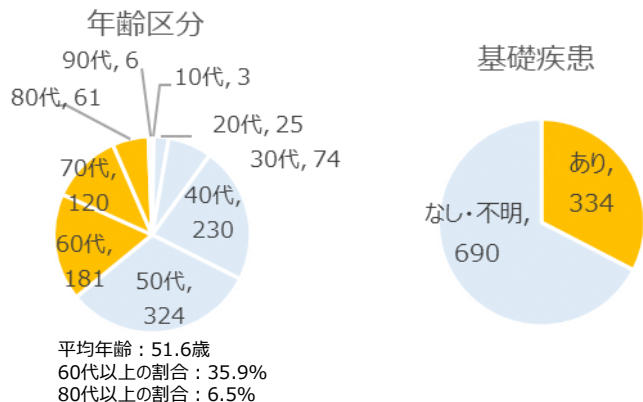
第五波（6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
重症者数	1,024
死亡	142
退院・解除	882
転帰	
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が5例あり

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：2.7%(922/34,284)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.7%(368/7,821)
 全陽性者数に占める重症者の割合：1.0%(1,024/100,891)

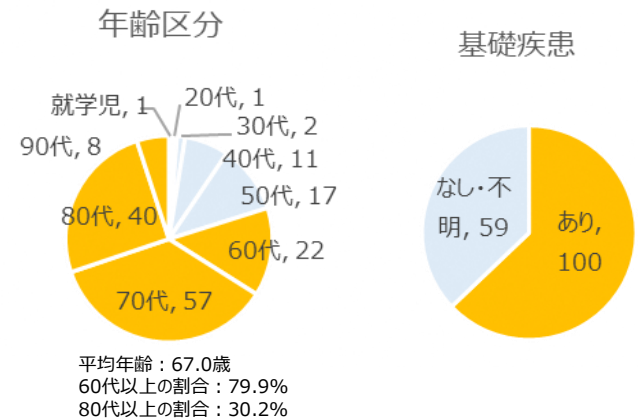


第六波（12/17以降）

新規陽性者数	196,560
(再掲)40代以上(割合)	70,444(35.8%)
(再掲)60代以上(割合)	23,882(12.2%)
重症者数	159
死亡	11
退院・解除	9
転帰	
入院中（軽症）	27
入院中（重症）	112

■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.2%(155/70,444)
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.5%(127/23,882)
 全陽性者数に占める重症者の割合：0.08%(159/196,560)



※重症率は2月5日判明時点までの重症者数に基づく。今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動

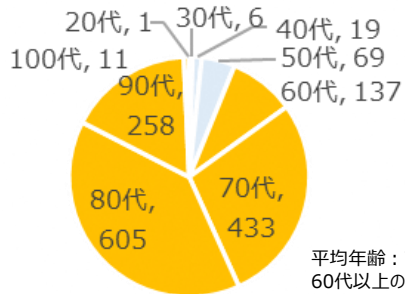
第四波（3/1～6/20）

新規陽性者数	55,318
(再掲)40代以上(割合)	28,795(52.1%)
(再掲)60代以上(割合)	12,950(23.4%)
死亡者数	1,539

■死亡例の割合

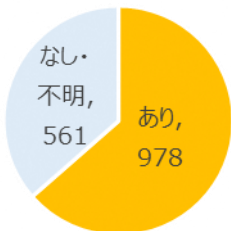
40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：5.3%(1,532/28,795)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：11.2%(1,444/12,950)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：2.8%(1,539/55,318)

年齢区分



平均年齢：75.2歳
 60代以上の割合：93.8%
 80代以上の割合：56.8%

基礎疾患



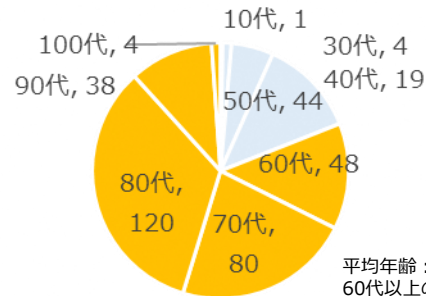
第五波（6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
死亡者数	358

■死亡例の割合

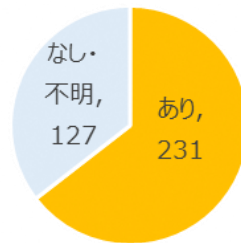
40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：1.0%(353/34,284)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：3.7%(290/7,821)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.4%(358/100,891)

年齢区分



平均年齢：69.8歳
 60代以上の割合：81.0%
 80代以上の割合：45.3%

基礎疾患



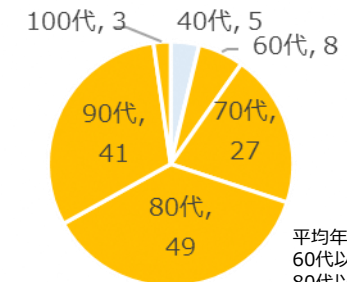
第六波（12/17以降）

新規陽性者数	196,560
(再掲)40代以上(割合)	70,444(35.8%)
(再掲)60代以上(割合)	23,882(12.2%)
死亡者数	133

■死亡例の割合

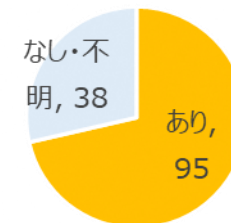
40代以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.19%(133/70,444)
 60代以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.54%(128/23,882)
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.07%(133/196,560)

年齢区分



平均年齢：78.9歳
 60代以上の割合：96.2%
 80代以上の割合：69.9%

基礎疾患



※死亡率は2月5日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

【第六波】重症及び死亡例のまとめ（令和4年2月5日判明時点）

- ◆ 重症例のうち、ワクチン接種なし又は不明が約7割を占めるが、約3割はワクチン2回接種済。
- ◆ 死亡例においては、ワクチン接種なし又は不明が約6割を占めるが、約4割はワクチン2回接種済。

【重症例の変異株結果とワクチン接種状況】

	合計	ワクチン接種状況		
		2回接種済	接種なし・不明	1回接種済
オミクロン株	4	2	2	0
L452R陰性	34	9	25	0
L452R陽性	8	5	3	0
検査中・検査不可※1	113	34	79	0
総計	159	50	109	0

【死亡例の変異株結果とワクチン接種状況】

※重症例159例のうち、11例は死亡のため重複あり

	合計	ワクチン接種状況		
		2回接種済	接種なし・不明	1回接種済
オミクロン株	5	4	1	0
L452R陰性	10	5	5	0
L452R陽性	1	1		
その他※2	2	1	1	0
検査中・検査不可※1	115	42	73	0
総計	133	53	80	0

※1：判定不能含む。 ※2：初発患者がL452R陽性のため検査未実施：2名

4 感染状況を踏まえた対応

新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関への要請について

- ◆ 軽症中等症病床の運用率が9割近くとなる等、入院調整が困難な状況となっているため、2月3日、特措法第24条第9項により、病床確保・患者受入等について受入医療機関に要請。

● 病床の確保にかかる要請（対象：すべての受入医療機関）

- ・重症フェーズ3、軽症中等症フェーズ5への速やかな移行
- ・軽症中等症病床について、休止病床等を活用したフェーズ5の病床数以上の受入

● 重症病床への患者受入等にかかる要請（対象：一体型病院②）

- ・他院からの重症患者の受入及び中等症Ⅱ患者の受入

● 患者受入等にかかる要請（対象：すべての受入医療機関）

【受入について】

- ・外来受診患者等から入院調整を行う場合は、入院基準を遵守
- ・フォローアップセンターから入院患者（運用病床数1割以上/日）の確実な受入
- ・土日・祝日及び夜間の受入体制の確実な確保

【転退院促進について】

- ・中和抗体療法などの治療を終え、症状が安定したコロナ患者は、宿泊療養等への切替を促進
- ・退院隔離解除基準を満たした患者の転退院の徹底

医療非常事態宣言 (2/8)

● 大規模な感染拡大が継続中 (週平均約12,720件/日)

● 医療提供体制が極めてひっ迫

・ 軽症中等症病床がほぼ満床⇒休止病床の運用を要請 (2/3)

(2/7時点 使用率103.5%、運用率98.3%(※))

(※) 運用率は、病床確保計画に基づく運用病床以外で患者を受け入れている病床数を含めて算出

・ 重症者数が連日増加

(2/1時点 72名 ⇒2/7時点 136名(※)) (※) コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数21人を除く

⇒ 医療機関に対し、フェーズ4 (非常事態) に移行要請 (2/7)

(一般医療を一部制限の上 (不急の予定入院・手術の延期) 患者受入体制を確保)

・ 一般救急搬送困難事案が依然、増加

⇒ 患者受入れの協力を要請 (1/20)

感染まん延期における病床ひっ迫への対応について

○陽性者数が1万人を超え、更に拡大した場合、入院病床がオーバーフローする懸念がある。

今後、中等症患者の入院病床が満床にならないよう医療資源等の最適化を図る。

【対応策】

①保健所との連携のもと往診チームによる施設クラスターへの迅速な医療介入により、継続した施設内療養を支援

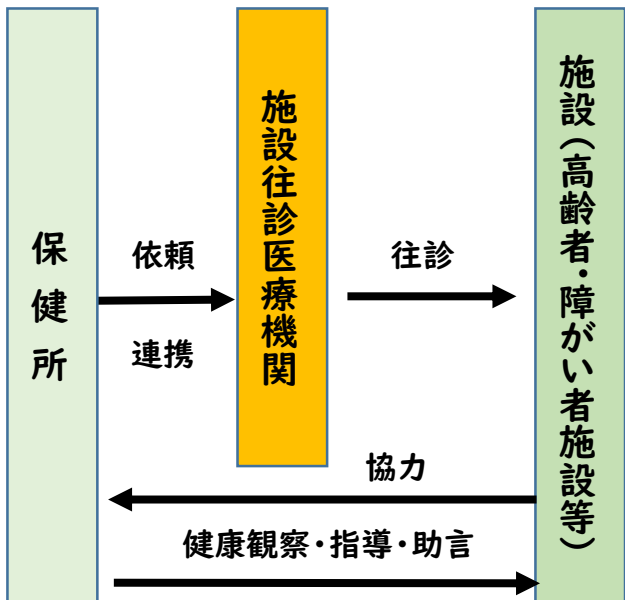
- ・各医療圏に最低1か所以上の施設往診医療機関を確保(38箇所)。
- ・保健所による施設と連携した入所者への健康観察を継続し、入院が必要と判断した患者は迅速にコロナ受入れ病院へ

②外来医療機関からの入院対象基準の順守、入院期間の短縮化

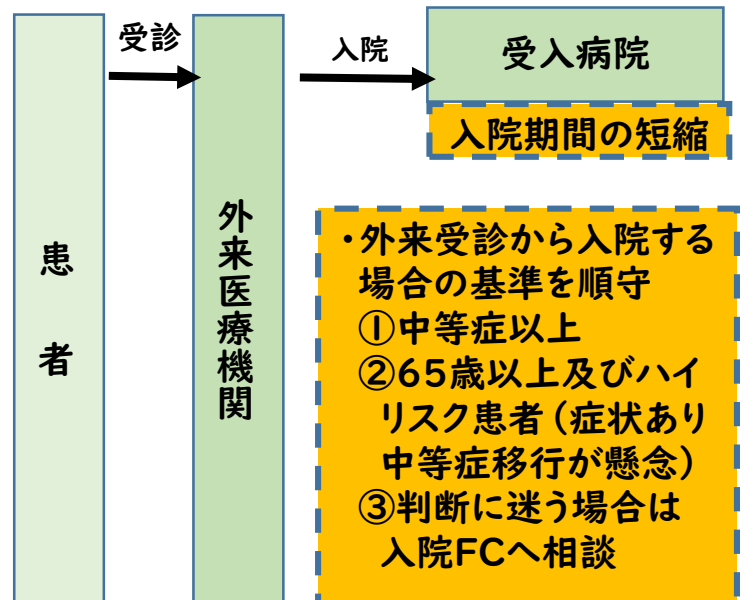
- ・外来からの入院対象を中等症以上等に限定、転退院を促進するため、入院期間の短縮化を進める

③診療型宿泊療養施設に入院機能の一部を付加。軽症患者の治療の実施

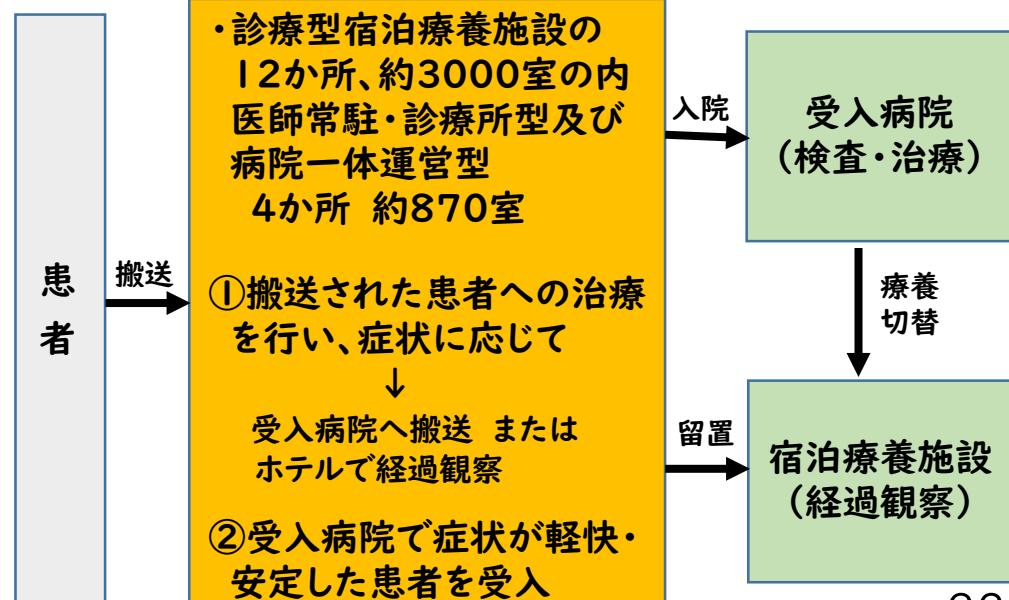
①施設内療養の対応



②入院対象基準の順守・転退院促進



③診療型宿泊療養施設への入院機能付加



オミクロン株の感染まん延期における高齢者施設等での対応の考え方

感染・療養の状況

- 入院患者の年代割合（入院調整時）は、直近6日間で60代以上が8割強、80代以上が約5割。
- 軽症中等症病床が運用率98.3%（2月7日時点）とひっ迫。入院患者の調整時症状は直近6日間で中等症Ⅰ以上が約7割、中等症Ⅱ以上が4割強と増加傾向。
- 一方でオミクロン株は比較的重症化しにくく、発症早期に施設内で適切な治療を行えば重症化を防ぐことが可能。

施設クラスター等の状況

- 高齢者施設・障がい者施設におけるクラスターが多発。公表クラスターでは1月で52施設、約780人の陽性者が発生（通所施設や職員を含む）。
- 別途、クラスター以外も含めた入所施設の状況を保健所に調査したところ、陽性入所者は約1600人、うち施設内療養は約8割の約1250人。（2月7日時点の保健所からの報告に基づく1月からの発生クラスターのうち収束施設を除いた累計。）
- オミクロン株は感染力が強いことから多数の施設内感染が発生。

- 施設で陽性者が発生した場合、早期の重症化予防治療と、軽症の場合は可能な限り施設内での療養を基本とする
- 上記を円滑に進めるため、地域の医療機関等とも連携した支援体制を強化

高齢者施設等における入院・療養の考え方（第六波におけるオミクロン株感染まん延期の対応）

- ① 施設内であっても「府における入院・療養の考え方」に基づき対応。
中等症以上や、症状が続き中等症への移行が懸念される方は原則入院療養の対象とし、症状や施設の状況を勘案して医療需要の高い方から優先的に入院調整。（対象に該当しても、病床のひっ迫状況などによりやむを得ず施設内療養を行う場合がある。）ADLが自立している方は宿泊療養の対象。
※施設の状況：施設形態、常勤医師等の配置状況、法人内での支援の有無など
- ② 入院治療はコロナ治療を目的とする方を対象とする。コロナ患者の治療機会を最大限確保するため、コロナ治療を終え症状が安定し入院での医療が不要となった場合は療養期間中であっても退院し、診療型宿泊療養施設の活用や、高齢者施設等での療養を検討。
- ③ 施設内療養を行う場合は、保健所や府・市町村による支援とともに、地域のネットワークによる支援を実施。
（ICT（感染対策チーム）等による感染対策の指導や、往診医療機関等による抗体療法・経口治療薬投与など）



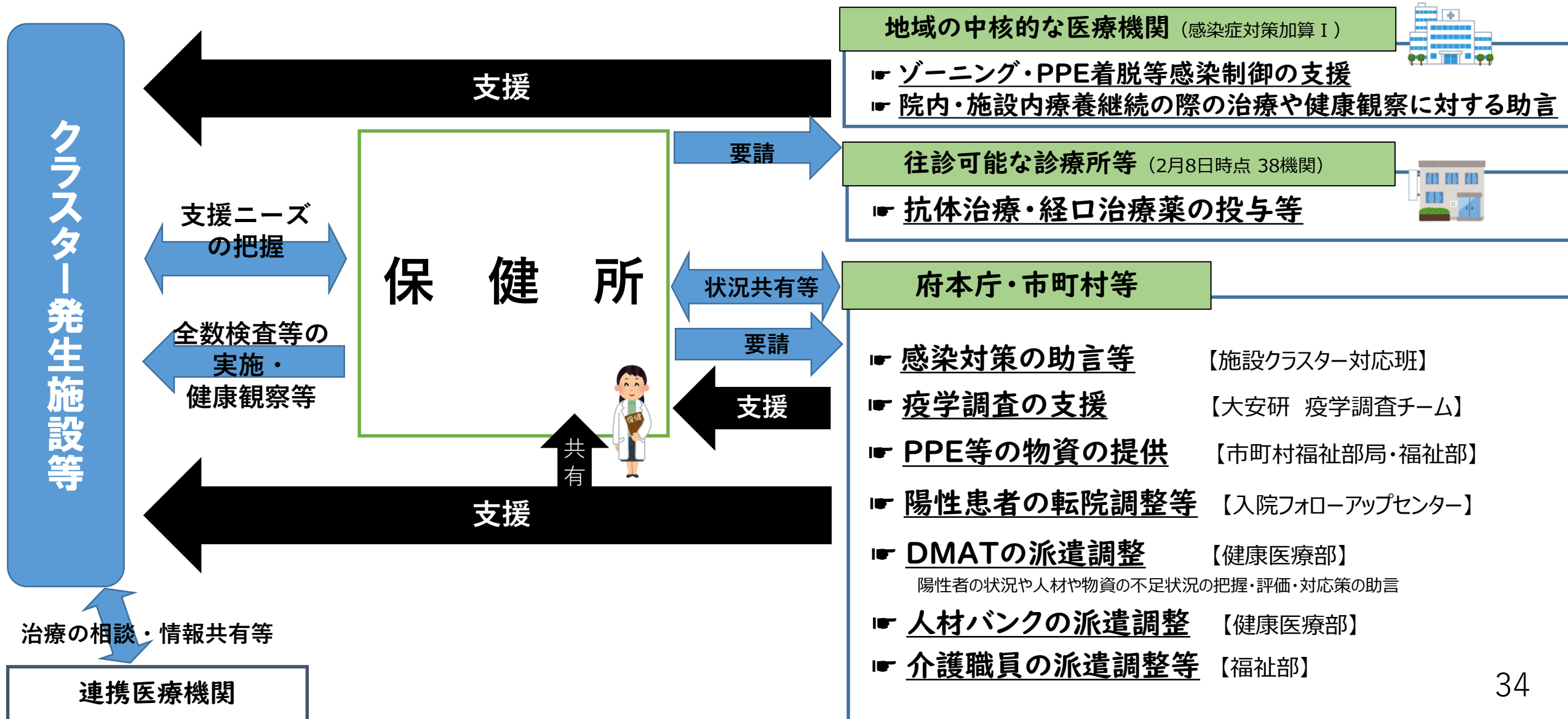
【参考】府における入院・療養の考え方（第六波におけるオミクロン株感染拡大時の対応）（令和4年1月25日対策協議会・対策本部会議）

●入院の対象（目安）

- ・中等症Ⅰ（SpO2が96未満又は息切れや肺炎所見あり）・中等症Ⅱ（SpO2が93以下）以上
 - ・65歳以上及び重症化リスク（BMI30以上や基礎疾患等）があり、発熱が続くなど中等症への移行が懸念される患者（外来等で初期治療や経過観察が可能な患者を除く）
 - ・中等度以上の基礎疾患・合併症により入院を必要とする者や、保健所や入院FCが必要と判断した者 ※上記以外にも免疫低下や妊婦など、感染症法政省令に基づく対象者あり
- ※中和抗体治療などコロナ治療を終え症状が安定した患者は宿泊療養に切替え

大阪府における施設クラスターへの支援

◆ 高齢者施設等における感染発生時の早期収束や、施設内療養への支援のため、保健所や府・市町村による支援とともに、地域の医療機関との連携により、感染対策の指導や往診等の治療体制を整備。

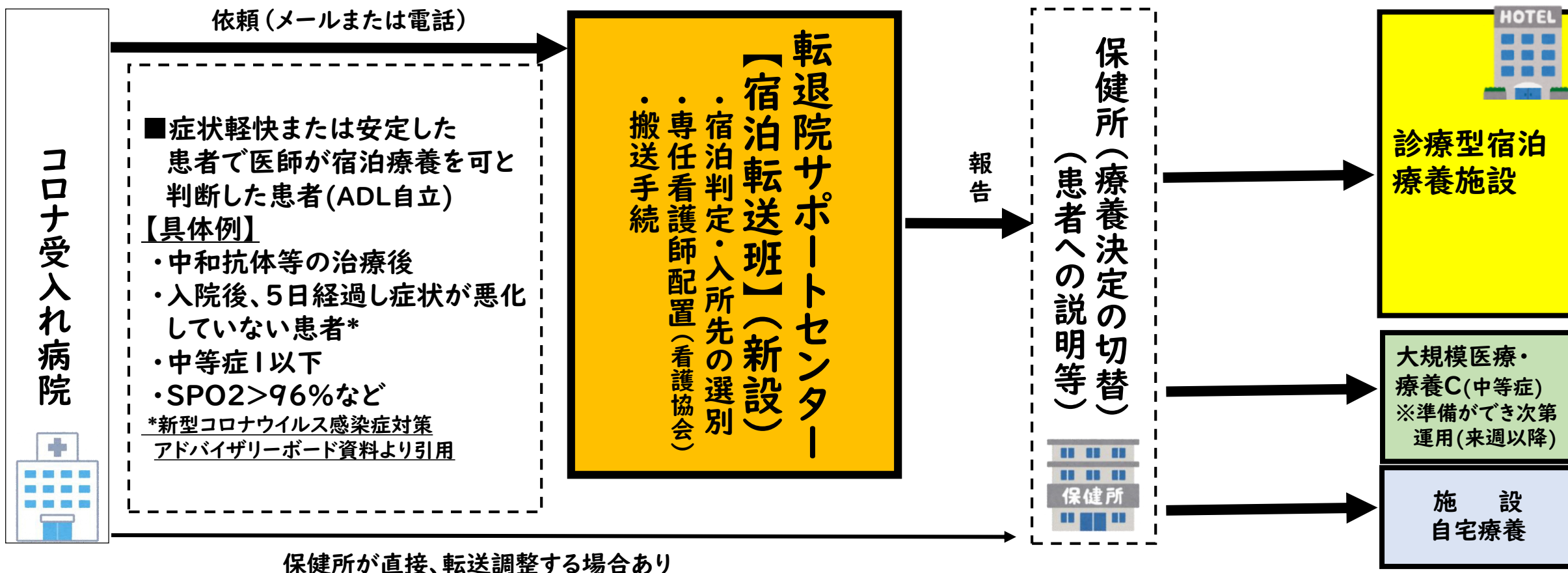


コロナ受入れ病院から診療型宿泊療養施設等への転送について

趣旨

- ・軽症・中等症病床がひっ迫する中、入院患者で症状が安定、軽快した患者を診療型宿泊療養施設に転送を促進するため、府転退院サポートセンター内に、「宿泊転送班」を設置し、専任看護師による調整を行う。
- ・保健所の業務ひっ迫を考慮し、転退院サポートセンターが直接、転送を調整。 **【2月9日より設置運用】**

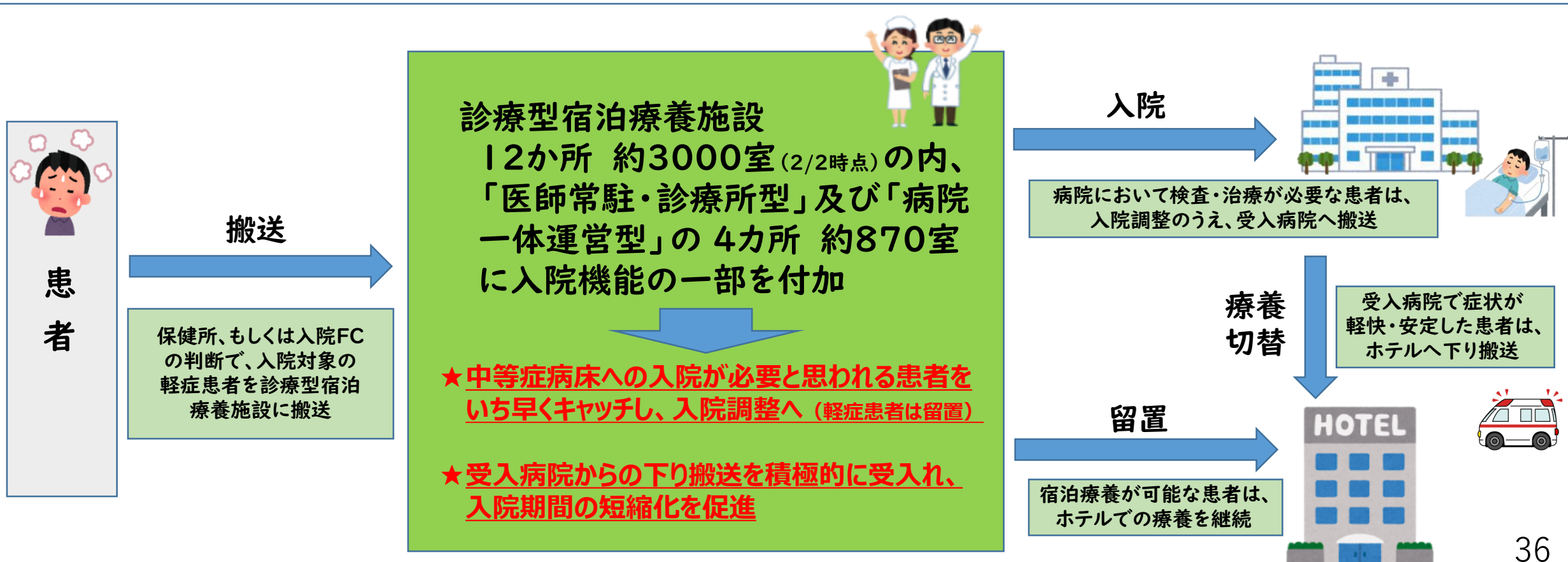
転院から入所等の流れ



病床ひっ迫時における入院対象患者のリスク度に応じた対応

～診療型宿泊療養施設に入院機能の一部を付加～

- ◆ 入院対象の軽症患者を診療型宿泊療養施設の一部で受け入れ、必要な治療を実施
- ◆ 中等症への移行など、病院において検査・治療が必要な患者は、入院調整のうえ受入病院へ搬送
- ◆ あわせて、受入病院で症状が軽快・安定した患者を診療型宿泊療養施設において受入を促進



オミクロン株の感染急拡大による医療非常事態宣言期間における緊急支援事業 ①

- ◆ 軽症中等症病床の使用率が2月7日(月)に100%を超過。2月8日(火)に「医療非常事態宣言」発出。
- ◆ 受入病床の効果的な運用を図るため、4つの緊急支援事業を実施。
➡ 緊急支援期間：2月9日(水)～大阪モデルにおける「非常事態」解除(赤信号消灯)まで

支援 ① 宿泊転送協力金(自宅・施設への転送を含む)

■ 軽症中等症病床において抗体治療薬等による重症化予防の治療を実施。

入院日を初日とし、5日以内に症状軽快または安定した患者を、診療型宿泊施設等に転送させた受入病院に協力金を支給。

【協力金】転送患者1人につき、20万円

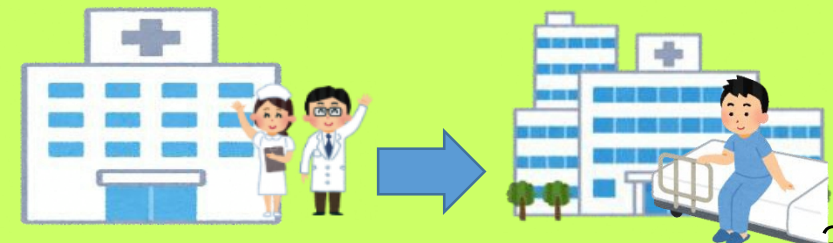


支援 ② 退院基準を満たした患者の受入協力金

■ 退院基準を満たしているものの引き続き入院継続が必要な患者の転院等を促進。

転院により患者を受け入れた非コロナ病院等に対し協力金を支給。

【協力金】受入患者1人につき、20万円



支援 ③ 確保病床を上回る患者の受入協力金

■受入病院に対し、令和4年2月3日付で、休止病床等を活用した患者受入れを要請。

確保病床（2月9日時点）を上回って患者を受入れた病院に対し協力金を支給。

【協力金】受入患者1人につき、20万円



支援 ④ 高齢者施設等における重症化予防協力金

■クラスターが発生した高齢者施設等の患者に対して、抗体治療薬等による治療を提供することで重症化を予防し、病床のひっ迫の軽減を図る。

保健所からの依頼を受け、高齢者施設等への往診を行う医療機関に協力金を支給。

【協力金】登録後初回の往診時100万円（準備経費相当1回限り）

施設への往診1施設につき、30万円

※ 往診1回・患者1人あたり15,100円（回数上限あり）の協力金を別途交付

